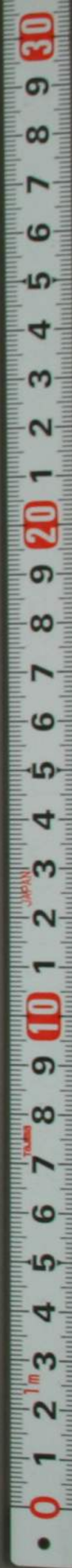


日露戰後史料 第十一卷

自明治卅七年  
二月至四月 踏透電報

早稻田大學

リ 5  
2107  
11





明治三十七年二月分

路透電報集

附倫敦特電

時局

一月三十日

昨夕の彼得堡電報ニも拘らば少くもイソク新  
 聞ハ確ラに左の如き報通となすを得と云へり  
 曰く露國の回答は去水曜日完成し皇帝の批  
 准を経たり而して右回答ハ未だ日本ニ送致せ  
 られざるも其文意ハ既に露駐公使ニ告知せ  
 らる同公使ハ之を本國政府ニ電報し日本政府  
 ニ又昨日之を其友邦ニ通知せり  
 回答の文體ハ懇懇有るも露國ハ清國及韓國  
 の保全ニ要する日露協約草案より一應削除  
 せらるるを「清國」ハ其文字を再び挿入すこと

とと純対、拒絶せり  
 此回答の正式、曰本に送致せらるるに當りて  
 使、直に露帝と引揚げ曰本に最早自國の利益  
 保護の爲め干支に訴ふるの外他、方法なくと  
 の通告をなすべしと豫期せらる  
 彼得堡に於て發表せらるるに報通、據れハ露  
 國の回答ハ次週迄、曰本に送致せらるるべ  
 しとハ只完成にハ熟慮を要すれハ云々  
 曰露兩國ハ此二週間以亦、各國に對し  
 既に世間、知れ渡れ、兩國向て或、争点に及  
 し夫々自國の地位を説明せ、通牒を發せり、と  
 云々

カラライ  
 の國執

一月二十日

其後聖彼得堡より出てたる報通の趣、協定  
 の期迫き、あるを秘す、受せしグラライッ  
 力、此は其説（即ち露國ハ其新回答に據り依  
 然清國の獨立を曖昧に附せん）と法局戦争と  
 見おん心止すと看す（カ）と國執に居り  
 聖彼得堡に於て風説さる、處に據れハ西比利  
 亞鐵道の商品輸送、二月二日より假、停止さ  
 るべしと一軍隊軍需品の輸送、其途を專にせ  
 んを考りあり

西比利亞鐵  
 道の商品輸  
 送停止

新加坡 英國阿非利加艦隊の港

英國の補給運送

英國の戦いの覚悟

シモンスタウン（喜望峯の軍港）に於ては例  
に如き繁忙にして英國の諸艦船は皆多量の石  
炭及び軍需品の積込を行ひ居たり

スーベラニ氏エーレボロより送來する向

△聖彼得堡よりノ電報：據ルハ軍隊の必要あり

ノ属の西北比利亞鉄道の商品輸送ハ來る大曜日

（二日）より假令停止さす、事となれりと云ふ

開戦の場合ニハクハバートマン將軍陸兵の指

揮を行つる者なり

ノウカエウレリミヤハ昨日の紙上：於て露

國ハ到底滿洲内陸ニ至りて日本と妥協するこ  
と能はむと云ふものなりと細論せり

二月一日

△佛國甲裝巡洋艦バリー（正） 聯絶東艦隊ニ投合せん

可居ウワロンを出發せんトす

△一萬六千四百噸の日本鐵甲艦ニ復建造の注文

エルスウイック（アームストロング社）及び

バーローイン（ファリス）ガイカースマ

キシム倉社）の兩造船所ニ發せらるたり

日本軍艦の新巨文

佛國軍艦の東航

東國の満  
洲に在る

△ 米國の新領事、米週中、滿洲、白川、等々

陸軍省の  
改革

△ 英國皇帝、國防委員會の建白を答へ陸軍部督  
の官職を廢し七名を定員とす軍政會議を起  
し又監軍を新設するの議を裁可せり

日本軍艦  
の新注文

クイカリス、マキコム及びバームストロム  
の兩会社、去る土曜日に二十日、出来べき限  
り連日二隻の日本新軍艦の建造を行ひ且つ之  
の艦装を完了せり、むす、昔の注文と受けたり  
右軍艦、各、排水一萬六千四百噸、速力十九哩

英國の陸軍  
改革

あり、尚、其武裝ハ英國最良の軍艦よりし、更ニ  
一層重量なるものなり

陸軍省委員会の建議、従ひ政府、皇帝の裁可  
を受けし海軍省軍政會議の式、従ひ陸軍省會  
議を起し陸軍部督の官職を廢し監軍の新職を  
創設するに決定せり、大監軍の主要なる任務ハ  
本國政府の管理下にあり、軍隊、つきて其實力  
を要する報告と検閲するにあり

東歐形勢の  
不慮

マセドニア、アの形勢更ニ危殆の状を呈し東  
たるものの如し、セルビア、ハンガリー、土庫

クハバートキン  
將軍(劉凱)

日本  
主張

其のマセドニア(統督)と歐洲顧問官(即ち  
總督の下にあり列國の顧問官寧ろ總督を監督  
する列國の隱目付)との關係懸念を欠くに至  
りたりとの報あり

日露戦争起るに至るは陸兵指揮の任はクハバ  
ートキン將軍に委せらるべしとの説あり

二月二日

二月二日

倫敦に於て日本の一官吏はロイヤル通信員と  
の會議に於て通信員として日露間商議の細條  
を明にするを得せしむたり即ち曰く日本は滿

洲を以て清國の主権の下にあらむること  
に反し露國をして有効なる成文の證言を屬さ  
しめんとして主張するに決心したるものなり  
他の諸島につきては縦一や其修正を許すこと  
ありとするも此証言を欠くに於ては之を代ふ  
るに如何なる該典を以てするに受せし日本  
商議の進行を拒絶すべし平和に到底望むべし  
らざるなりと

英伊兩國の間は仲裁條約の調印行はる

新購艦  
新嘉坡

△日本軍艦日進春日兩號、新嘉坡に到着し石炭

英伊仲裁  
條約

美國議會  
開会と時  
局

積込中なり而艦... 錫蘭嶼附近、於て大風、遺  
遇し其耐航力の實、定りたるを証したり

△ 美國皇帝、本日 議會、開会と行ひ其勅諭、於  
て日露交渉、固きは憂慮と言明し且つ其如何  
ある援助たゞを問はし苟も平和的解決と促進  
せんを為り、美國政府の有益、為し得る援助  
ハ喜んで之と共に可しと宣言し給へり

露國新聞  
の論調

△ プールス、カゼワト、スガイエワト、ノウオ  
ス々等の露國新聞紙、日本、固して恫喝的挑  
發的言辭を用ひ居り

美國の民心  
倦まんぞ

△ 勢力ある美人間、この日本、忍耐の誤解せら  
れつ、あるを説けり蓋し美國の民間、この日  
本が満洲尚跋、憂して軟化しつ、ありと想像  
し初るを小いなり

露國の戦  
備急あり

一月二十一日度布露國陸軍省令ハ露國豫備歩  
兵の勢力を増大せ可きと命じたり  
聖彼得堡、於て報道せらる、處、依れば浦海  
斯德の防備を強固ならしめんを為り五萬の軍  
隊間しかく同地、到着せ可しと  
極東、在る總ての露國豫備兵、恐らく近々、



勅諭せらるん

美国皇帝  
と時局

美国皇帝陛下、議会開会に勅諭、於て朕は日露交渉の進行に對し憂慮を以て之を注視し、平和の攪亂を要するに悲むべし、結果を生ぜざらんを欲するも得べし、以て故に朕の政府の援助に對し苟も平和的解決を促進せらるるのあらんを斯くの如く援助を喜んで之を共に可しと望へり

回答又遷  
延瓦

聖彼得堡に於て報道せらるる、是に依りて夜間の日露交渉に對する回答は若干の点は決着せし

るものありと以て此處數日間、發送せざるべしと云ふ

美国の  
開会

美国皇帝の皇后、皇太子、皇太子妃及びコンノート公を携へて正式を以て國會と開会し、於て總理大臣バルフォア氏はインフルエンスのあり臨場せり

二月三日

露軍の  
其せらる

△ デーリレーラグラフ聖彼得堡通信の報する所、據んば露國最高顧問府の満洲一戦を以て

米國撤兵と  
迫らんとす

次議し左の如くへの回答案文。既にアシキシ  
一ノ總督ロージェン公使の西人。向け披露せん  
たり。此回答案文中。全然満蒙。つき言及せ  
る所なしと云ふ

△ 華聖頓より電報。據ルバ曰く米國。清の保  
全。更して露國。條約を遵守せんことを主張  
し併せて露國軍隊の撤退。果して何の時を以  
て初めらんとすやと詰問せんとす

露國主戦派  
の勝利

△ タイムズの報する所。従一ハ主戦派再び聖波  
得堡。其勢を張る。至りたりと云ふ

浦港艦隊  
の出戦準備

△ 聖波得堡。於て半信報を以て發表さる。所。據  
ルバ在浦埃斯徳の艦隊。其故の準備を整へ艦  
上の木材部。既に盡く之を撤去したりと云ふ

美人政府を  
起すべし

△ 米國の新可成。曰美兩國の利益を保持するが  
為に断然たる態度。と云ふべしと云ふ政府。迫  
り居たり

美國下院  
と時局

△ 美國下院。於て中洲尚書オースタン。チャンバ  
レン氏。政府を代表して議員の質問。對して極

美國外務省  
の海況

東問題を議す。今日其の時機、非ずと各報  
し自由党総理カムペンバインマン氏も亦之  
れを承認したり。

美國上院、勅諭奉答案を可決せり。  
上院：於て外務大臣ランズダウン卿、美國  
軍にて絶東問題：つゞ好意的尽力の申言を為  
したりや（前報「佛國の調停運動」参照）如何と  
の質問を受け双方とも之を欲望する：ちらば  
る限り美國、斯の如き尽力を提供せんことを  
欲せしむる。一方：於て現に仲裁を  
欲せざる。公然の秘密なりと云ふ。

多は同大臣ハ西藏問題に關する書類を發表す  
べきことと約言しスペンサー伯ハ然る上：於  
て今四使節發遣の真意因政治的にして決して  
軍事的：ちらざるを知識する。至るなうんと  
云へり。  
又同大臣ハ帝國の各部を更ニ一層密接：聯絡  
せしめんとす。エームバレン氏の遠望に對  
し同情を表す。ルのなるを隠蔽せず左に如し  
政府ハ之を實行の困難を承認し居れり。之  
にて徒々之を突進せざる。即ち尋常一極の謹  
慎を現せるのみなりと云へり。

二月四日

露國の回答  
期

露國宣戦  
の大意

日本：對する露國の回答、二月六日を以て交  
附されし、旨聖彼得堡に於て公言さる  
テリリニユースの聖彼得堡通信員に報ず  
る處、據ルハ、甚し事情に於て其必要なるを不  
す、於て「アレキシ」フ總督に宣戦を布告し  
敵對行爲と初むるも可なるべし旨參謀如新よ  
り其權利を附與せん、云ふ高は日本に  
て是し露國が其回答に於て提供する兵糧を拒  
絶する、於て「露國皇帝の宣戦勅諭」亦即時

新購艦横  
須賀に向

露國回答の  
延期

發せらるべしと云へり

△ 日本軍艦日進春日西號、本日横須賀に向、新  
嘉坡を以て發したる

△ 獨逸ケルニワシエ、フアイフング紙、露國回  
答を再び延期せらるるを報ず

海嘯大風、伴うて英吉利海峡の兩岸を襲ひ、ブ  
リマス、ボートマス、ヘースケング、莫大か  
る損害を興へたり  
又倫敦のテームス河に接近せる部分に浸水し

美國の天  
變地異

たり

美吉利海峡ジャージー嶋：地震あり  
引續きたる降雨の結果として美國の大部分殊  
ニテームス河一帯の沿岸：水中：埋れたり

露國の天  
を度す

露國軍艦オスラビヤ、運送船サラトフ及び  
駆逐艦三隻、極東：向ハスエズとシ度たり

露國の陳  
辯

印度事務官パーシー伯、下院：於て演説して  
曰く露國の滿洲撤兵の遷延并、牛莊海周局負  
を代ふるに露國の指命したるを以てする  
こと：付き屬く陳言したりと

二月五日

美國の輿  
論

△タイムスハ其社説：於て曰奉、英國の利益を  
支持しつゝ、あつたを認識す尚月一役の  
論調ハ之、比一層明確なり

露國の天  
を度す

△在聖彼得堡タイムス通信員の報道：曰く隣國  
し居たる露國も遂に決する所あり隨て露國ハ  
曰奉の要求に應ぜざる可しと

露國の輿  
論

△露國の新聞紙、引續き米國を誹謗し米國、曰

本日の行動を煽動したりと稱す

回春遂に  
東に去る

△日本に對しては、夜國の回春に無限に延期せられ  
たり

棉花の下落

△リゲアールブル市場の棉花は六十二ポイント  
に下落したる

チエ氏の旅行

チエームバレン氏は二ヶ月間旅行せんとす其  
目的地は埃及なるべしと信せらる

回春と各  
種の風説

日本に對しては、夜國の回春は昨日押し下り

總督に發送せられたり若し總督より之を覆

同たりは於てハ之を東京に迴送せらるべし其東京

に到着せらるる遅くも月曜日は可し

聖彼得堡に於て信せらるる、處にハハ夜國ハ

日本の満蒙に對して要求を再考せらるるべしと

在聖彼得堡タイムス通信の報道に依ればハ踏

踏し居たり露帝は決心を了る所あり隨て夜國

ハ如何なる讓歩をせらるる可しとあり

二月六日

西藏問題

△美國印務事務大臣ハ美國を西藏に使者を派遣

露國の妄  
新幕言

せる土地蚕食の目的：ちうにと議會：於て  
漁説せり

△ 聖彼得堡ブルースガゼットは大膽：七露國ハ  
断トて條約を以て清國の領土保全を保証せざ  
るべきを主張し日露の條約は滿洲に固在るル  
のたると認識し而して露國の滿洲占領は既  
完成せる事實なりと宣言したる

新軍艦の  
新幕成度

△ 日奔軍艦日進吾日西號ハ今朝：至り新嘉坡を  
出帆したる蓋し天候悪しくして石炭積入ル手  
同取られたるに依る

日本が決心  
と美國

日露兩國の  
對峙

△ 日奔の決心ハ美國の有力なる同情を博したる  
デーリリー グラフイックの報道を所々依ル  
は日奔に對する露國回春の趣意ハ一月二十九  
日以來貝根本、於て愛する所を言辭ハ調和的  
なりと雖も而も清國の保全に固在る日奔の要  
求ハ断乎として之に應ずるを拒み而して此死  
活的問題以外に諸点に於て若干の讓歩を為  
すべしあり而して日奔が斯くの如き訂約を拒  
絶するの決心ハ依然として變らばるといふ

校舎なる霞  
國の平和風

聖彼得堡に於て平和的の報通せらるゝ處に依  
化バロイセン公使の日本に對し露國の回答を  
交附したりと

又聖彼得堡に於ての官邸より報通に依れば  
露國政府の恐らく日本に要望の適應可き程  
度まで讓歩したる故に若し日本に平和的  
精神を有するに於て右の回答に結局妥協を  
得せしむ可き作法に於て更に新なる要求を提  
出可くバロイセン公使は交渉の新局面に對して  
十分の命令を交し居りし

海軍部はラウソンの號に美國支那艦隊に對して多量

美國  
東洋の兵  
士澤榮と  
送る

の澤榮、百十名の水兵及び少數の歩兵を搭載  
して倫敦を出帆したる

二月八日

曲言何の効  
ありし

二月六日附露國回文に聖彼得堡に於ける日本  
公使及び公使館全員の召還の途に東京に於け  
る露國公使の召還を止む可らざるありしに至  
りたることを説述し附言して斯の如き行動に東  
京の政府をして外交關係の決裂ありしと来た  
る全責任を日本に負擔せしむるものなり何と  
せんバロイセンの露國の回答をだに待たざりし



結氷上の夜  
国鉄通

苦しい時の  
神頼み

栗野公使  
の引揚げ

のなすを以てなると曰へり

現時の運輸滞りを避けるに爲り氷結したるバ  
イカル湖上ニ即時鉄軌を布設すべし旨の命令  
聖彼得堡ニ於て發せられたる

露國皇帝ハ其刀身を脱するに前足づ其祖考の  
爲したる不始くトロイツコ寺院ニ於て全智全  
能神前ニ帝國の運命ニ關する皇帝の訴を捧げ  
んが爲りモスコイニ行幸せんと

△ 栗野公使及び公使館員等日伯林ニ向て撤退せ

り聖彼得堡の美國大使館日本人の利益を保護  
する筈なり

日本の決  
意と美  
國東部

バルカンの  
不穩

△ 美國新聞紙ニ皆一様ニ日卒の決意ニ賛成と表  
すタイリス、モリニングポストは日卒の早計ニ  
過かたきを鳴らす露國新聞ニ對し反論し居れ  
り

バルカン半島ニ於ける不穩の情態ハ殊ニ甚だ  
しくなりつ、ちり而して土耳其政府ハ希臘戰  
争前の時ニ等しく鉄道車輛を徵度把獲し居れ  
り

公使館撤  
退後の邦  
人保護

日米債公  
債の暴落

米国の大火

聖彼得堡の米國大使館、日米の利益保護の任  
に當り

二月九日

米國の株式、四磅、日米の、四磅半、コンソ  
ル公債、半磅方何れも下落した

米國ボルネオ市、大火あり目下市中を焼  
拂ひつゝ、あるが其火にたる、去る日曜日の  
午前十一時、一して今尚盛、焼けつゝ、あり紐着、

ファイラフルファイア其他の都市の消防隊、各派  
遣されたるも功無し今までの損害高、約千萬  
磅なり

二月十日

米國樞相の  
演説

テウオンシヤ、公は市長官舎、催されたる閣  
議、税収金の会合、於て演説して後令に如何なる  
異論の存するにせよ、米帝國の極東、於ける  
事益を擁護せんとする難事業を控へ居れり政府  
を以て混雑を来さしむる爲り、總ての者  
ハ一致を可しと曰へり

ア總督の  
報と倫敦

アレキシフ總督の電報聖彼得堡に達す其報  
に依れば日本水雷艦の昨夜半旅順口の港外  
に碇泊せし露國戦艦ハルクウイカン、ウエサレ  
ウイッテ并に巡洋艦ハルクウイカニ向て大損害を  
被むらしめ日本水雷艦は艦も損傷を受くるこ  
とありしと通れ去りたりと此報道に倫敦に於  
て大なる満足を以て迎へられたり

二月十一日

西國の  
河戦布  
告

△露國皇帝、本日日本に對して宣戦の詔勅を發

したる

日本郵船の  
告示

△若枝丸、無事コロソボに到着したる  
備後丸、美國テームス河上に於て火災を起し  
迅速に消止せられたるも同船、為り、中央船  
艦に損害を受けたり

美國新聞の  
熱賣

△倫敦、於ける新聞派、筆を揃へて日本の先榮  
ある偉功を賞賛し露國の威名を為り、挽回を  
可らざるの損害を蒙りたりと就中タイム  
スは其無形上通徳上の結果極大なることを宣  
言す

米國と清國の  
中立保全

二月十二日

二月十日華盛頓政府より國務卿へ一紙に列國  
に移牒して交戦中及び平和克復後を通りて清  
國の中立及び保全に承認せんおるべしと云  
々との事と曰く兩國に通告せんとなすに於て  
列國に異して聯合せしむるや否や其意向を問合は  
せり

去る火曜日聖彼得堡より他各地に於て愛國的  
示威運動ありたれど昨日旅順に於て達したる

露都大  
震駭

報に頗る人心を動揺せしめたり其宣戦を布告  
せざるに當りて日軍の先づ攻撃を行ひたるに  
人民みる錯愕せし聖彼得堡の市街に激昂せる  
人民を以て雜沓と極む黨中の夜會に迫りたる  
たり

米國の提案  
と英獨

△米國の美國並に獨逸より極東に於ける日露の  
海陸戦争を或特別の地域に制限せんとするの  
提案に同意せしむる回答を得たり

タイムスは米國の提案を論評し佛國の躊躇せ  
るを指示し而して又那本土に對する限定せら  
れたる入寇は拒否せらる可しと思惟す

美米の中立  
宣言

ア總督總  
指揮官と  
あり

佛國と日  
露戦争

日本の成功

△美米兩國、本日中立を宣言せり

△アレキシーフ總督、軍隊の最上指揮権を興へられしり

△佛國、眞實戦争の擴大を拒みんとし、熱望す

二月十一日

倫敦、於ける新聞紙、凡て筆を揃へて日本を稱賛し、戦争の序幕を開きたるを祝しつゝ、あ

り尚ほ愕然新聞紙と異し、宣戦の布告を辱さるべしと攻撃せられたるの故を以て露人を之と詭計ありとつゝを嘲りつゝあり

露國皇帝は宣言を廢せし是れ實際、於て宣戦の布告なりとん

露國の公債、更に一ポイント半方下振し日本公債、倫敦、於ける好人氣を受けて四合の三ポイント方騰貴しなり

米國政府、絶對の中立を守るゝ決定しなり

露國の宣戦

日本の公債の騰貴

米國の中立

米國の提議

米國の務卿ヘイ氏ハ日露の戦争を出来得た  
ハ小地域に限界をたすの訴を審議せんことを提  
議したり是ハ露國并ニ日本より支那本土を  
侵さしむがらしむるの意ならんと認めらる

露國將校の  
欠乏

露國の海軍士官欠乏の爲るにこの海軍下士官  
ハ昨日將校たることを許さんなり

露帝の諒  
言

露國皇帝は宣して曰く奸譎なる敵ハ暗夜何等  
の盜布たるところなく一瞬に要塞と艦隊を  
攻撃しを劃と

栗野公使

栗野日本公使ハ露都を中夜一たび

美國の中立

美國の中立宣言ハ明朝を以て發表せしめん

二月十四日

英國從軍將  
校の中夜

日本軍に從軍をへき英國將校サー  
ムニコルソン氏及びジェームス  
ン大佐ハ既に中夜せり

氷上鉄道竣  
功期

工事請負人ハ二月八日以前まで  
ハイカル氷

露國財界の  
恐慌

上の鉄道を完成するの約を結ぶ

露國大藏大臣、告示を發して暴落の爲る公衆  
の頻りに露國公債を犠牲に供せんとするに警告  
を共へ今少し冷静の態度を執らんことを希望  
し一時仮令の困難に陥ることあるも露國の経  
済力の揺撼をべうらがるものなるを説けり此  
告示の要するに露國全般に人氣沮喪せるの案  
を最も著しく表明するものなり

佛國の絶東  
警備

若干の佛國巡洋艦破壊艦目下プレスト及びバツ  
ーロンに於て絶東に向て進發準備中なり六千

露國水雷母  
艦の爆発

噸の石炭及び粉炭亦急遽柴棍に向て送り出さ  
れ居り

△ プレキシーフ總督の駐彼得堡に報告したる處  
に據れば

水雷母艦エニセー其行動中布設水雷區域内  
に於て爆發し百名の死者を與せりと

△ 日本のお債贖買せり

△ 露國の西比利亞豫備兵の勤負中にして露國大  
部に於ける豫備將校又皆召集せんを

露國の豫備  
兵の召集

日本公債の  
好意配

バルカン半島  
形勢

△バルカンの形勢日々迫り土耳其ブルガリア突  
然戦争破裂をへく憶想せしむ双方軍備は汲々  
たり

対戦勝と  
大陸新開

△日本の勝利は大陸新開の態度を一撃せしむ維  
也纳新開等々筆を極りて日本を崇賛し怡林  
於ては專論に日本を加擔せり

中立国と石  
炭供給

△英國の石炭貯蔵地は公法に従ひ交戦国軍艦に  
對し本國最近地に遠在るを以て石炭を供給を  
べく容せらる

中立国財界の  
危急

二月十二日(?)

日本の勝利は聖彼得堡の取引所甚しき恐慌  
を興へ同地の経済状態は頗る危殆に及りて政府  
債券の所有者は其損失莫大なり銀行業者中  
は既に傾き初めたるもの若干あり

回航中の五隻  
船

ドミニトリドンスコイ、オーロラ及び肥遼艦六  
隻は蘇士よりジブールに進航し既に石炭の  
積込を終りオスラビヤ及び運送船サラトフ  
其他肥艦三隻の来着を待受け居り此等諸艦



露國記述  
船撤退を  
命せり

船又既ニ種士ニ出度セリ志以之ニ会せんとなす  
運送船水雷艇若干隻ありて此等ニ目下運河  
内ニあり

二月十三日

ホートサイドトあり露國の駆逐艦ハ同港撤退  
を命せらるなり  
露國ハ種士ニ於テ此駆逐艦を船渠ニ入らんか  
爲り其許容を求めたり也政府ハ換表を受けたり  
後是亦拒絶せらるなり

露國用船の  
退去

旅順口へ差立の爲り艦以上下りたり  
炭船ジヤクアは交戦國船を以て断せり即  
時ホートサイドト也度々命せらるたり  
下りの積荷を卸し居たり

二月十四日

南方露西亜ニ革命党を組織せり  
り之の爲り多数の地方總督ハ中央政府と協議  
の爲り聖彼得堡ニ召集せらるなり

獨逸及び清國ハ中立を宣言せり

獨清二國の  
中立宣言

露國內亂の  
兆あり

二月十九日

英国民の好意

△ 林子爵夫人ハ日本痲傷兵救恤資金ヲ募集シ初  
ヲたスニ英国民ハ熱誠を以テ之ニ其号附を申  
出シ居ル

清国の中立地  
域

△ 清国ハ外國の尙ほ統治し居ル地域ニ中立  
を保持スルノ責任を負ふルニ能ハズル旨列國  
ニ通告セリ

露艦運送

△ 露艦オスラロヤ、オロラ、ドミトリードン

スコイ運送船サラトフ、オレール等ハ南行即  
度洋ニ達セズ

米國の提案の  
清国中立問題

佛國ハ清国の中立ニ同意スル米國々務卿ハ氏  
の通牒ニ承諾を無ヘテハ英國ハ即チ其主義ヲ  
同意ス露國モ亦之ニ同意スルアリ日本ハ公  
文ニシテ巴里ニ發表スル所ニヨルハ日本  
ハ戦争の害悪を成スべく小ならずハ其爲メ  
清国ニ其中立を保持スベキことを勧告シ日本  
ニシテ表シ清国ト同盟セバ之ヲ爲シ便益を受  
ケ得ベキことハ其重々知曉スル處ナリト云モ  
清国ニ對シテハ切ニ勧告スルニ有力ナリ手段

を以て其軍略的要点を保護し支那の清國港  
湾を其策源地とし又避難地と爲す。吾等以て  
清國の中主を破壊せしむることありんを要  
すとの意を以てしありと云へり

二月十六日

美人更に歡喜

△ 美人更に歡喜  
美国人曰本軍艦隊は日進兩陣を無事日本に  
到着したるを聞きて歡喜する

露國の精銳

△ 露國の精銳  
美國外務大臣ランスタウン伯は昨夜上院に於  
て露國の日本艦隊に威海衛を集中して之を其

根據地と爲せりと稱するを反駁する

豫算討議の  
終結

△ 豫算討議の終結  
美國下院に於ける豫算案の討議終結し政府は  
五十一票の多數を得たり

公債騰貴

△ 公債騰貴  
公債は去る十一日以来凡て四磅方騰貴する

外交文書  
發表

△ 外交文書の發表  
千九百年以來英露兩國政府の間は往復したる  
公文書發表せしむるに右公文書は露國の時日  
遷延并に表裏反覆常なりことを暴露す

米國名士の計

△ 米國元老院議員ハンナ氏死去したる(享年六

黒海艦隊と  
海峡通過

十七)

美国内務大臣アカーヌダグラス氏は下院に於  
て演説して曰く露國黒海艦隊の増大が予ら  
海峡通航に及して美国政府は之を相談に應ぜ  
ざる可く又露國が斯くの如き條約違反を計畫  
せりと想像するの理由ありと

露國政府の  
恐慌

聖彼得堡の政府社会に於ては殊に不安の念を  
抱き學生の間は叛乱の揚言の傳播を爲る最  
も痛心せり

二月十七日

露國の石炭船

ヘルスベリ、アルストン、ジャグアの三汽船  
ハ前月中ウエース炭を搭載し旅順口に向ハ  
シリ（カーゲフ附近の嶋）を以て三月  
に至りて其目的地に着する筈あり

中立港内の露  
國艦隊

露國軍艦オスラビヤ以下の艦隊ハジブール  
ニあり昨日クロンスタットを以て去りたるスタ  
ル中將の後任者マフカロフ提督の訓令を待受  
け居り

二月十六日

露國政府の  
發行

中立港内  
にあり  
露艦

露國の中  
並  
警備

露國政府、五千萬ルーブルの信用手形を發行  
せし

露國軍艦オスラロア、ドミトリードンスコイ  
及び若干の駆逐艦、高はジブリーチルにありて  
更に訓令の至ると待つべき旨命せられり

二月十七日

聖彼得堡に於て傳へらるる所、據れば英國若  
し露國に對して公然敵對の態度を執るると又露

國の利益に反對せる何等かの計畫を波斯又ハ  
西藏に於て行ふことあらば印度の方向に軍事  
的行動を試みるの必要あるべきを以て土耳其  
斯坦總督ナノフ將軍は豫りの準備を爲す  
べき旨訓令せられりと云へり

マカロフ提督はスタルク中將の後任として旅  
順口の露國艦隊を司令する爲り多数の幕僚を  
率ゐて聖彼得堡を出發せし隨員中には亦技術  
官(船造)技師等あり

マリークハンナ氏死去せり

人未の時艦  
あり

米國艦隊の  
死去

二月十八日

南阿の労働者

議負サミエール氏は勅諭奉答案に對して修正  
勸諭を以てトランスカパーンに清國労働者よ  
答ふ、こゝ反對するの意を言明せんといたる  
も本勸諭に否決されたりトランスカパーンハ  
今既に清人輸入を遂行し得るに至りたるもの  
なり

東シベリアの  
野柳

西國軍艦六隻二月十五日瑞世のゴットランド  
嶋(同國東南角の一嶋)沖を通過したる

西帝の傲  
言

西帝の宣言書と度して劇しく日本を誹謗し且  
つ西國の品位と威力とに相應しき攻撃を以て  
人か居り、今や多くの時日を要す然れども  
日本が奸譎と無法とに百倍にも復讐せらる可  
しと言へり

バルカンの乱機

アルベールニアの叛徒の撃退せしむる八百名の死  
傷を以て土耳其軍の死傷亦多し

二月十九日

露艦退却  
ヨ

△ 露國軍艦一隻カナリ一群嶋に到着したる之、  
對し西班牙に最も近距離なる露國港灣に到達  
するに足らざりし其の石炭を供給せし  
其他若干隻はジブチルに滞留し若干隻は紅  
海のジエベルツカに投錨したる

露艦退却の  
埋圍

△ 在維也納タイムス通信員カ報道に曰く昨日發  
布せられたる露國の再戰宣言ハ 埋圍地利人と眩  
惑せしむ

露國の退却  
計畫

△ タイムスは其社説に於し露國の計畫はハルビ  
ンの方面に退却するにありしと明白にして其

露艦退却の  
結果

準備の整はざること驚く可堪へたりと云言す  
去る十四日カ旅順口襲撃に關し軍に其大体の  
又聖彼得堡に於し發表せられたる其言ふ所  
依ルバ十二吋砲彈若干發射艦ケリカン砲を撃  
ち此少の損傷と共に又水雷に命中したる軍艦  
ハ巡洋艦ホヤリン號なりと信せらるるといふ

二月二十日

露國と米國

露國政府ハ米國政府に通告して露國ハ戰爭中  
遠東に於し外國官吏の駐在するを欲せしむバ

露帝の宣言と  
世評

ガルニ一駐在米國領事モルカン氏：承認を無  
へざる可しと云へり

露帝の宣言中略々露國の戦備力をも承認し且  
つ大決戦を互に止む。長時日を要す可きと仄  
めうしたる。大に世上の批評を受けたり  
タイムスは露國の戦果は敵を以て疲勞せしむ  
るに在りと認め旅順口と浦塩斯德とを孤立の  
ま、打捨て置き往昔モスコに大退却したる  
と同様の筆法を以てその二の舞を演ぜんとす  
るものなりと爲す。是は大決心なり而も其成功  
するに否とい敵の意志如何に存すと觀察せり

露國と心  
カン

半官的：維也納に於て宣言せらるゝ處に依れ  
ハハルカンに於ける露國の利害關係、極東に  
於ける最近の出来事の爲すに次いで輕減した  
ることなく寧ろ重加されたり且つ右戦争の爲す  
に露國がマセドニアの鑛産に付する地利と  
共同する能はざる可しとの意見は根據なりと

怪む可き露  
艦の行動

露國艦隊なりと信せらるる一艦隊ジブチン  
よりペリム鳩を北方に向ふ通過したる此事露  
國艦隊の本國歸航を余せられたりと云へる聖  
彼得堡よりの報道と相符合せり



夜国の譯言

ア總督の是  
届り

伊艦東洋  
向ふ

夜国の公報は日本を開戦を布告するに先ち幾  
回とあく詐術的襲撃を度し以て國際公法を破  
りたりとの事を以て正式的ニ日本を批難せり  
アシキシーフ總督ハ新司令長官マカロフヲ將  
軍の到着をるまじハ爾賓に向ひ出立するを延  
期す可き旨の布令を受けたり

伊國巡洋艦カラアリア (二千四百四十二噸) カ  
ルロー アルバルト (六千五百噸) ロムバルダ  
ア (二千三百八十噸) ドカリ (二千八十八噸)

の四隻は極東に赴く可き旨の命を受けたり

二月二十一日

林公使夫人  
極兵金

△ 林公使夫人の主唱に係る極兵資金に既其應  
募額二千四百磅に達せり

ポールケッ  
碎氷

△ 夜国のポールケッ艦隊の中航を自由ならし  
めんを度し目下子ゲア河口を碎氷中なり

江海軍艦  
消息

△ ジブールにある夜國艦隊ハベリム鳩沖に  
於て見受けられたり北方に向け帰航せんとす

さしり、かし

露國の注吉

△ 聖彼得堡の公報は日本の戦争を促進した事  
に對して頗り不平を翻し居り

近東の現勢

△ 土耳其政府は明ニブルゲリアを激發せしり  
居り、戦争は四月を以て開るべき状なり

美國艦隊の  
星海警戒

△ ホスフォラスにある美國砲艦ハリーヤ  
露國軍艦の動靜を以てシムノス(ア)にあり美  
國艦隊は通報をべき旨の命を受けたり

クロバトキ  
將軍

露國ハ勅命を以てクロバトキン將軍、其陸軍  
大臣の職を解き之を以て滿洲軍隊の司令長官  
に任せり

佛國新聞の  
救恤  
全

佛國新聞紙は皆共ニ露國疫病<sup>海</sup>對する救恤資  
金の募集を初りたり

佛國新聞の  
英佛の態度

タム新聞は其社説に於て英佛兩國の露國戦争  
を傍觀すること頗る切要なるを説き兩國とも  
其好む所は阿るの結果を以て其至者なりと認  
めらるべき範圍を越えしことなうらんと望む  
と云り

巴里市場の  
恐慌

歐洲列國の  
警備

種々根柢あり、流言の傳へらるるたゞ、か爲り去る  
土曜、日巴里の取引所、一恐慌を來せり

伊太利、獨逸、佛蘭西、目下其の兵を動員中を

二月二十二日

喜望峯の  
内閣

喜望峯の新内閣、醫師ジエームソン氏を總理と  
して組織せられたり（ジエームソン氏、セシル  
ローブ氏の下、參謀たり）人々、一して彼の有名

なるトランスヴァールへ、ジエームソン侵入を策  
したる人あり

露艦紅海に  
航する

ロイテール通信員のアドンより報ある所、據ル  
ば、ピールオー會社渡航船モンゴリア號、紅海に於て  
夜間戦闘艦及び四隻の駆逐艦に遭遇し、一駆逐  
艦ハモンゴリア號の進路を遮断せんとすを討  
みたり、其目的を達せず、是に於て信報を以て  
之を「止ル」を命じ、モンゴリア號之に應じて  
進航を停止し、左にバ駆逐艦進み、右に之を臨  
検し、其上にて「海怒を乞ふ」とり信報を為し  
たりとす

紅海内の  
艦隊

巴里市場の  
恐慌

△ 艦隊はエーペルツーカー鳩（ペリム）の附

少く北に當れ、亞刺比亞海岸の一鳩の附

近に於てローオリ会社流航モンゴリア群を傳

郵船会社該船と想像して追駈し停止を命じ後

謝陳せり

△ 艦隊はエーペル ツーカー鳩に石炭船を所有し

居り

右艦隊の絶東進航中止とを以て説き

二隻の運送船、既、獲西に向け歸途に就けり

△ 去る土曜日の巴里取引所、恐慌を來したる、後

國分ルニ一在勤の米國領事、對し其生命保護  
を拒絶したる、是くと認めらる

露國の  
水雷艦隊

△ 露國の日本と同式なる魚形水雷と多分にホワ

イトヘッド会社に注文せり

クロバトキン将  
軍の司令部

△ クロバトキン將軍全然滿洲の露國軍隊司令部  
に選任され其司令部を遼陽に定めたる

各中立國の  
警備

日露開戦、明白に各中立國に危懼の念を感せ  
しむたるルウチ、瑞典、海岸に防備を加へ軍  
隊の勤負を行ひ居り、西班牙、カナリヤ、鳩に向

露國の英國  
牽制

け優勢なる援軍發遣中なるか、而して之を準備中にして、葡萄牙は又、アスタガアに送兵を行ひ、絶東方面に對して、目下勤負を計畫し居れりとの、如し

聖彼得堡に於て公表さるる所、據ルハ、ワシントン將軍の土耳其斯坦に向け、發すと共に、バミール方面に於ける露國の軍隊ハ著しく増強さるべしとす

露國の英國  
牽制

露國運送船モレンスクは再び運河に入り、歸航の途に向ひ居り

クロバトキンの  
作戰計畫

△ クロバトキン將軍の作戰計畫の準備、着手し、其聖彼得堡を出發すは、三月中旬なり

日本批難の  
通牒

△ 露國ハ日本が仁川旅順に於て國際公法を犯したりとして之を批難するの通牒を列國に發せり

バルカンの危  
機

△ 米國駐劄土耳其公使ハ、ブルゲリア人の專横を講し、戦争をして危急且つ避く可らざるに至らざり、と宣言せり

米國提議と  
日意

日意兩國ハ米國の提議ニ應答して兩國ハ共ニ  
實際ニ朝鮮地域たる滿洲以外ニハ清國の中立  
を尊重せんとするものあるを云へり

浦港の食料  
欠乏

浦港斯德の非戦負ハ食料品欠乏の故を以て退  
却を命せらるるなり政府は食料を得ずニ於て其  
萬般の方法を用ひ居り

露國の通牒

露國ハ日本が仁川旅順ニ於て萬國公法を破り  
たりとして日本を攻撃せる通牒を列國ニ送らり

西艦の歸航

ウエシニアスの率ゐる艦隊ハ運送船と共に本  
國ニ歸航すべしとの訓令を受けたり

西艦の失事

露國司法大臣ムラウイエフ氏ハ海牙仲裁々判  
廷の裁判長としてウエシニアラ問題の判決  
を共にするに當り輕蔑的ニ日本を主張し言及し  
たり

日本公使は使裁々判長より斯くの如き指摘を  
受けたるに反對し且つ東京政府ニ向て訓令を  
仰り

二月二十五日

露國通牒の  
内容

露國の通牒は日本が國際法に對して種々惡處  
なる違反を行ひたりとの事を叙述せし後露國  
は之に對して列國に概抗議を呈し置くを其義  
務なりと思ふが日本が韓國に於て不法に其權  
力を把攬したる結果假令如何なる命令を發  
し又如何なる宣旨を行ふも露國は凡て此等を  
以て無効なりと宣旨す露國の此態度は列國の  
同意を表するものありハ露國の信じて疑ハざ  
る所ありと云へり

日本軍艦  
沈没の公  
報

日本戰艦四隻、運送船二隻旅順口にて沈没

露國通牒と  
東詔

いたる言聖彼得堡に於て公報として發表さる  
露國が列國に發したる通牒に對して一般の意  
見は右の通牒文は實際に於て日本の優秀神速  
ある行動が露人を驚倒せしめたるを承認する  
を尋しく且つ朝鮮の中立が日露兩國に對し共  
存せしむるのなるを表明せんとして却て朝鮮を  
驅つて日本側に立たしむるものなりと云ふに  
在り

露國艦隊の  
帰航

露國軍艦オスラロヤ號等の艦隊は總て本国に  
帰航しつゝあり

智利軍艦購  
入の理由

△ 英國出納尚書オーステン、ケヤンバレン氏は議  
会に於て智利軍艦二隻購入の件に付議員の質  
問に答て曰く他國が之を買入れなば勢力の權  
衡を失ふの慮あり故に英國に之を買取り如  
何なる二個の強國にて此勢力の均等を敗る能  
はざらしむと述べたり前出納尚書リッ  
ー氏も亦軍艦購入を以て止むを得ざる状態の  
下に行はれりと爲し右説明を賛成せり

旅順口封鎖の  
公報

アレキシーフ總督の公電に曰く日本は去る二  
十四日午前二時四十五分水雷艇を以て再び旅

順口を襲ひ燃焼物を満載せる四隻の汽船を沈  
没せしむ以て旅順口を封鎖せんといたり戦闘  
艦トウサンカン砲台と共に港口近くは於  
て右の汽船二隻を破壊したるが夜の明くるに  
及び汽船四隻の破壊せられたること并に八隻  
の水雷艇も其本隊に向ひ航走せざるを知りて港  
口の障害なり

永上鉄道の  
完成

バイカル氷上鉄道完成し列車運轉しつゝあり  
日本政府は拘留せらるゝ爲めセイロン島に向  
ひつゝある仁川役の露國捕虜に對し露國に

仁川捕虜の  
處分



美国首相の  
全快

て再び之を戦怖に  
出さざる可しとの  
誓言を爲す  
に於ては本國に  
歸るを許す可し  
との通告を爲す  
に於ては本國政府  
に右の方法を西  
講せんを爲す  
と交渉中なり

二月二十六日

美国の中立  
と大陸

△海軍大臣セルボ  
ーソン伯は昨夜上  
院に於て演説し  
て威海衛に受ける  
露國の詰責一日  
本艦隊が

日本米國領  
間の海底電  
線

威海衛を仮根據地  
と爲したりとの  
ことを以て邪  
悪なる虚言なりと  
指摘せしタイム  
スは美國の中立  
に關する大陸諸  
國の主要なる批  
難に對して手強  
く評論したり

氷上鐵道の  
完成

露國の汽車は昨日  
バイカル湖の氷上  
を通過したなり

バルカン事件

平和的解決に對す  
る土耳其ブルガ  
リア間の

露國の汽船  
停泊

豫備商議ハ引續キ良好ニ進行ス

露國駆逐艦一隻去リ二十二日紅海ニ於テ該艦  
オムバサ跡の進行を停止し駆逐艦の士官と  
ニ乗移りて書翰と点検したリ

二月二十七日

露西亜の内部

露國の重なる都會ニテハ革命の機運者一々曼  
延して高加索地方ル人心<sup>悔</sup>々々各地警察ハ  
愛國的運動と稱する各種の示威運動と抑壓す  
るニ汲々たり杜東ニ於ける不利の報道傳はる

ニュージールランド  
知事

毎日社会党ハ益々爆發の動機を高りつ、あり  
フランケワト卿新ニニュージールランド知事ニ  
任せらるたり

米國の大火

米國紐育州ロケエスタ市カ南衛ニ大火あり  
延焼を防ぐ為ニ爆薬を用いて其數區を破壊せ  
り  
米國メリーランド州ボルケモーパー市の大火ニ  
テ南衛都合三エーカー破壊されたり

西艦の追跡

オスラビーア以下の露國艦隊ハ獲士附近ニ於テ

美領印度汽船モムバヤヲ駛レ日本船ト誤リ停止  
と命ぜり

佛國の超然談

△ラヌサン氏ハ明白ノ言辭を以テ演説シ今回の  
事件外ニ佛國政府の超然たらんとを勸告せり

露國依順の  
敗戦と報せ

△去々木曜日旅順口の海戦ニ関シテ露國ハ日本  
艦隊の攻撃優勢ありしを爲り露國巡洋艦の港  
内ニ撤退したることを承認せり

凡声鶴唳

△巴里ニ於シマタン新聞ハ日本將ニタルニ  
と砲撃せんとすを報せり

明治三十七年三月分

路透電報集

附倫敦特電

捕獲の汽船

佛國の派兵準備

情 美國政界近

二月二十七日

種士りりの確報：據ルハ湾内ニ碇泊中の露國軍艦は石炭を搭載せる美國汽船エトリックテイル號及びビフラシクビー號をノル威船マニルガ號を捕獲せりと云ふ

ルタン新聞曰く二萬の殖民地歩兵ハ印度支那ニ出發せり準備をなすべし余令と受けたり

美國政界ニ於てハ二三週内ニ議會解散せりトハトウ風説頗多ク近來議場ニ於て議員

西藏問題と  
英園

の合班（或、尙駐：付可否と査察す方法）  
属、行はれ其都度政府党の数次才ニ減少し去  
了木曜日の夜の如き政府党の僅ニ十四名の多  
数を得たりみ右の合班の前以し通知なく不  
意ニ行はれしものなる共確らニ政府党議員の  
議事ニ不熱心ニなりつゝ、あるとを証明せし  
足ると認めらる

二月二十九日

△ 英園外務大臣ランスタウン侯は上院にて演説  
して曰く英園政府の意見ニ「西藏の独立を維持

す」ニちり萬一或強國ニして西藏：優勝権を  
行ふの権利ありとせば其國ニ即ち英園をうぶ  
るを得る英園より「援救」を受け得べしとの西藏  
人の信念ニ英園の政策ニ非常の妨碍を興へた  
り英園ハ西藏ニ対する勢力ニ圍して既ニ明白  
なる満足の保証を得たりと自信す

三月一日

英園ハ戦争ニ関する規則を發布し石炭、米及  
び其他の食料品を戦時禁制品と定りたり

露園の戦時  
禁制品

所今の西新  
正鉄道

西比利亞鉄道は今や毎列車と七乗員を満載し  
居たり極円率一個は貝加爾湖上の氷中、行方  
不明とななり

美国軍隊  
織の變更

美国政府の陸軍豫算、總額二千八百九十萬磅  
に、前年度より五百六十萬磅の減少を示し  
兵卒の總員は二十二萬七千人に、前年より八千七百  
六十一人の減少を表示せり、其他南阿、貳萬一  
千五百人より成る永久の守備隊を置くの一箇  
條あり而して謀合大隊組織を廢し、以前と同様  
の人負を各隊隊より補充するとななり

運炭船の捕  
放

スエズ灣に於て露艦の爲り、捕獲せられたる  
三隻の運炭船は、露帝の命に依り解放せられた  
り

運炭船の捕  
獲

新嘉坡に向へるガブリアールの運炭船オリエ  
ル、洋江海に於て露艦の爲り、捕獲せられたり

海軍豫算  
討議

美国海軍省書記官ブレキーマン氏は海軍豫算  
案を議院に提出し、美国海軍は二國の連合力に  
匹敵せざる可らざる故を以て豫算の増加  
と正當なりと爲せり

ロバート氏は修正を建議し、政府は各海軍團に

露國の曠日  
彌久集

軍備縮少の議を通牒す可しと勸告し、フォー  
タ、氏、之、答へて政府、之、が、爲、り、其、來  
得、り、限、り、を、盡、く、し、た、り、と、宣、言、修、正、案、は、否、決、せ  
ら、れ、た、り、

△ オスラビヤ以下の艦隊ハスエズ運河を通過し  
つ、ち、り、是、れ、り、し、て、ホ、ー、ル、ク、ク、海、へ、向、ふ  
可、く、同、地、に、於、て、新、艦、隊、の、編、成、せ、ら、る、を、待、つ  
可、し、右、の、新、艦、隊、ハ、露、國、に、残、存、せ、ら、る、總、て、の、戦、闘  
艦、及、び、巡、洋、艦、と、り、成、ら、る、と、し、て、來、る、六、月、と  
以、て、進、發、し、九、月、後、順、に、到、着、す、可、し、と、公、言、せ、ら  
る、

露國艦隊の  
新司令官

聖彼得堡より、の、報、通、に、從、へ、ば、露、國、ハ、四、月、に、  
重、大、な、る、交、戦、を、避、け、專、ら、日、本、と、し、て、奔、命、に、疲  
れ、し、む、る、の、軍、界、を、採、る、の、計、畫、な、り、と

新任露國東洋艦隊司令長官マカロフ中將旅  
順口ニ着せり

露國の在  
祖

露國巡洋艦ゴエチラ、アドミラル、號、大、西、洋  
ア、ソ、ー、ル、群、嶋、(、阿、非、利、加、北、角、を、遠、く、離、れ、た、る  
一、列、嶋、葡、萄、領、) の、ポ、ン、タ、ゲ、ル、ガ、ダ、ニ、着、せ、り、

露艦の横着  
領

露國巡洋艦ドミトリ、ドンスコフ、は、稜、西、に、於、て



修繕の爲り滞泊の許可を願ひてたゞ其滞泊  
期限ハ約十四日間なるべし

三月二日

露國陸軍總  
指揮官

クロバトキン將軍は三月十二日滿洲ニ向付出  
發せしべし

露國水雷艦  
の群心

五隻の露國水雷艦アルシールニ向付ボートサ  
イトと出發せし戦時禁制品を搭載する船隻を  
地中海ニ於て臨檢せんが爲り之を途上ニ要す  
るの目的を有するルカなりと云ふ

三月一日

露國の抑留  
行者

露國軍艦ハ曩ニ抑留したる石炭船を十日間経  
過したる後釋放したるなり

新美領マレー  
知事

北ホル子才知事パーチ氏はベラーウク(マレー)  
の駐在官ニ任せしんたり

三月三日

五日間の未  
精

露國軍艦ドミトリドンスコイ號は修繕の爲り  
五日間スエズに碇泊するを許さんたり

戦時禁制品  
未

未(美西)両国は戦時禁制品に關する各自の權益を  
防衛するに爲り兩國一致の態度を採らんとし  
目下交渉中なり

日韓同盟と  
露國

日韓同盟條約の發表せられたる今日露國は朝  
鮮の獨立を中立などいふ小説的のことに守持  
する能はずと伯林に於て思惟せらる

露國水雷艦  
引返す

アルジールに向ひボートサイドを曳帆したる  
露國水雷艦隊は天候不良と稱して再びボート  
サイドに引返したる

英兵モルタ  
に向ふ

更に二千の軍隊モルタに向つて進發せんと  
すと報せらる蓋し右は必要の場合に清國に向  
ふの目的を有するものなりと想像せらる

クリフケント  
競技

瀛洲シドニーに於て英本國と瀛洲とのクリフ  
ケント競技あり本國方が百五十七点の多數を  
以て瀛洲方を敗れり

ドレーフス事  
件と佛人

ドレーフス事件大審院に於て審議始まり然  
し一般佛人は全く之に對し無頓着なり

三月五日

紅海の敵艦隊

露國政府は少イシニアス將軍の率申了艦隊：  
對し紅海に止まり軍艦の行動を視察し且つ戦  
時禁制品を捕獲すべし訓令を發せり

獲士軍河と  
露國艦隊

埃及政府は二月十二日：於て文戦團の軍艦は  
捕獲物を守護して運河を通過するとを得下と  
の決議をなせり

ポルトセツトに歸着したる露國の水雷艇ハ再  
此同所を立去るべきの催告を受け且つ此上石  
炭を給するを拒絶せらるべし

歸美後の露  
國大使

英國駐在露國大使ベンケンドルフ伯ハ聖彼得  
斯堡より倫敦に歸り同伯ハ露京：旅行した  
り、將に出陣せんとする子息：会見の爲なり  
しなり同伯ハ昨日美皇エドワード陛下に謁見  
せり其目的ハ美皇の書面：對する露國皇帝の  
親翰を呈呈するにありしなりと信せらる蓋し  
美皇ハ其書面に於て日露戦中ハ新聞紙の喧  
囂に拘り不美政府ハ嚴正なる中立を維持する  
旨を証言せられしなり

漂泊せし露  
國艦隊

ポルトサイドに在るグエシニアス提督の率に

美國新聞と  
我對露評書

艦隊、本日西班牙カチヅ港：向ハ出帆する  
若ならず今後同艦隊、地中海：徘徊して来り  
六月ポールキック艦隊と同地：於て相合了可  
し  
露國水雷艇ハ總て悲しむ可き状態：在り修繕  
の爲にポートサイドに滞泊す  
巡洋艦ドミニトリンドンスコイ號亦憐れむ可き状  
態：在り之を要する：全艦隊ハ能力タリ

三月四日

△ タイムスは露國の小孩らに日覺書と冷笑し日

本の答辯の至當なるを賞讃し且つ日本の敏機  
と勇氣とは世界の夸て激賞する所にして其行  
動は近世の戦争に行はれし实例（宣戦公布に  
先つ交戦行爲を指せるものなり）と一致せ  
りと評せり又テリリ、クロニクルは露國の  
不平を以て一種の恐怖と認め日本が答辯を要  
せざる程薄弱のなりなりと冷評す

三月七日

ワシントン元帥逝去したる

三月八日

元帥の逝去

露國の對獨  
人改革

△ 露國の各州知事は猶太人に向て日本員層の運  
動を停止すべき旨戒諭しつゝあり  
キエフ知事は同府に任ずる猶太人の總代を召  
喚してキシ子ノ事件を記憶せよと彼等、嚴達  
せし  
露國在任の猶太人、強制的、多額の軍費募集  
に應ずべく命せられたり  
クロバトキエ將軍、西伯利亞鉄道附近の猶太  
人、悉く退去を命ぜり

佛國軍備  
不備

△ 佛國にして、軍器の欠点並に軍事行政上不備の  
事實現はれ非常の激論を惹起し特、海軍は攻

英國政府と  
石炭

撃の積点とあり居り

首相ハルフォア氏、下院に於て露國が石炭を  
戦時禁制品なりと宣言したるは非常、重大な  
事同懸こして英國政府、目下之に關し詳細な  
る通知を得る爲種々手段を盡しつゝありと演  
説したり

支那タリムス  
主筆署名

外務次官パーシイ氏、下院に於て議負ツウル  
ミン氏の質問に答へて曰く英國政府、露國に  
對して毒害なる誹謗的論説を掲げた支那タ  
リムスの主筆カウキン氏に對するサトウ公使

の處分を是認したる旨答辯したる

三月九日

巴里市会の  
救恤

巴里市会は露國及び日本の負傷者救助の爲め  
二萬法の支出を決議し且つ彼得堡に書面を送  
り露國の勝利を希望する旨を通告せり

英國國税同  
選

英國首相ハルフォア氏は下院に於て政府の現  
今の議會に於て財政上の方針を討議するの意  
思なりと明言したる

露國の中立候  
言同選

下院議員ローゼン、ウォルトン氏は今や露國  
軍艦はクリート島並に埃及に於ける港灣を使  
用しつゝ、亦英國政府は交戦國中立國の高  
船を遮止せんが爲り中立國の港灣を使用せし  
と、閣下中立國の義務に自ら關係中立國に其  
意見を通知せしるの意思ありや否やと質問した  
るに首相ハルフォア氏は之に對し本件は大に  
重要なる事柄にして政府は注意を拂ひつゝ、あ  
りと答辯せり

三月十日

米國官民の  
同情

紐育ニ於けるウイスクンシン倶楽部の宴会ニ  
於てホイラー將軍は日本海軍の勝利ニ関し  
言ふに、日本人の強大を表明するものなりと  
述べ大ニ喝采を博せり、日本總領事内田定樞  
氏亦演説して曰く日本ニ國家生存の爲めニ戦  
ひつゝあり此際米國ニ望み公平正直の行爲ニ  
出でんとを望むと此演説の終りに於て聴衆は  
大喝采を爲し拍手數分間ニ亘り、後子副總  
長ブラフト氏一個人の資格を以て日本が海  
戦の初ニ於ける如く成功を継続せんことを希望  
すと述べたり而して国会議員其他の人々七日  
本議員の演説を考せり

三月十一日

露帝と浦潮  
守備隊

露國皇帝陛下は浦塔斯德守備隊に砲彈の洗禮  
を受けたるを賀し同地の守備兵一一同自己の  
身軀を以て城壁となり以て敵軍に對し祖國の  
要地を保護すべきを確信する旨申送られり

特惠關稅同盟と  
英國議會

英國下院ニ於て議員ロリ工氏、或は内閣員の  
言論ニ感激し特惠關稅制主義の運動繼續を非  
難せる動議を提出せり右動議ニ二百四十三に  
對する二百八十九の多數を以て否決せられた  
り當時二十六名の統一黨員は少數黨の爲めに

米国の惨劇

投票せり以上の事實は總選挙の挙行期日を早  
めたるものと認めらる

△米國オハイオ州スプリングフィールドに於て  
一名の黒人を死刑したる結果黒人反抗し白人  
二千名ハ黒人街ニ放火し陸兵八個十隊派遣さ  
れたる

三月十三日

アレキシレフ總督の公報ニ曰く  
去る十日未明六隻の米國駆逐艦偵察の途中夜

十日夜頃  
撃

順港外ニ於て日本の駆逐艦及巡洋艦と衝突  
し激戦の結果米國駆逐艦ステレグシ<sup>1</sup>及び日  
本駆逐艦一隻沈没しステレグシ<sup>1</sup>の水兵若干  
溺死し其他は俘虜となりマカロフ提督ハ救  
援の爲りノグサク<sup>2</sup>及びバヤ<sup>3</sup>の二隻を率  
てて港外ニ出でしステレグシ<sup>1</sup>を五隻の日  
本巡洋艦ニ包圍せらるつ、やうしを見し餘儀  
なく退却したる日本艦隊ハ長距離より巨砲を  
以て午後一時十五分迄我ら艦隊並ニ砲台を砲  
撃せり

露國の損傷は夜間の戦闘及び翌日の砲撃を通  
して士官六名水兵廿一名負傷し戦死者三名な



末松男爵の  
着美

三月十四日

日本の政治家末松男爵ハリケアポールに到着  
し、男爵は或る使命を帯び居ると信せら  
る

伯林に於ける陸海軍の批評家ハ日本人の陸軍  
の行動を援護する爲め艦隊を運用したる方法  
並に艦隊司令官の命令なき熟練を全然賞讃し  
たり

獨逸軍人の  
批評

クロバトキンと  
戦局

クロバトキン將軍は彼得堡に於て盛大なる見  
送りを受けつゝ、戦地に向け出發したる將軍ハ  
多合鉄道列車内ニ本營を定むべし將軍ハ副官  
ハ或人ニ語る所ニ據れば將軍は先づ朝鮮より  
總ての露兵を呼戻すべく戦闘ハ五月に入りし  
開始せらるべし而して七月の終ニ於て日本と  
の勝敗を定むべしとあり

オ儿が大公の  
赤十字社監督

△ オ儿が大公は露國赤十字社監督として満洲  
向の出發せんとす

貝加爾鐵道  
急速工事

マカロフ中將  
と霞兵

沈没戦艦  
叙勲

地中海の霞  
艦と中立國  
汽船

未松界の所  
言

△ 霞國ハ貝加爾鐵道工事を速ニ竣工セシムル為  
ウ更ニ七十萬六千兩支出の議を決セリ

△ マカロフ中將の復順着任後同地海軍部内の士  
氣改テ少ク同中將の報告ニ水兵が彈丸雨飛の  
間ニ立ち沈着ニ職務ニ従事するの状恰ニ平時  
時の如クと云フ

△ 夜帝はワリヤーゲ、コレーフ二艦乗組員ニ勲  
章を下賜シタリ

三月十五日

埃及海岸の北方を巡航シテ、ある霞艦ドミト  
リドンスコイは獨逸汽船スエフトカルト及  
ビ美國汽船セルトレイクの進行を停止シタリ  
後報ニ依ルバ美國汽船バウウム、インダアの  
二隻ル停航を命ゼラレタリモルトレイクは  
其浮標を掠リテ砲撃セラレ且ツ書類を検査セ  
ラレタリト云フ

未松議澄界は訪問セリロイテル社員ニ對シテ  
リテ曰ク領土を擴大せんといふ所如キ物質上  
の利益を目的トシテ日本、今回ノ戦闘を行ハ

英國政府党の敗北

るにあらざることを予い世界の衆知せんことを  
望む彼の英人志士と云ふ可也其に要するに杞憂  
に過ぎぬ日本に数十年の平和を確保せんことを  
る方法によりて即ち其勤作を行は居れりとの  
ありと

三月十六日

愛蘭教育費を削減せんとする議案レフドモン  
ド氏の勸諭に於て政府に敗れ其畧式分席  
法一採決の手段の結果に政府党百三十票  
に對する反對党百四十一票なり

ク將軍の着期

△ クロバトキン將軍は目下急行列車中より其  
目的地に到着す本月二十八日なり

旅順の再攻撃

△ 本日聖彼得堡に於てハ日軍に全力を盡しし直  
に旅順口の再攻撃を爲し且つ兵を運來し入る  
可しと豫期す

露兵鳳凰城の着期

△ 周東報は露國兵が鳳凰城に到着したるを報ぐ

佛國の憲法を改らざる

佛國政府は憲法を改らざるを以て改らざる即ち修正案は二百七十一票に

佛國海軍の  
現状

對する二系八十二案を以て可決せしむる案は  
育、十箇年間停止せしむる案と、なす政府の  
五箇年説は否決せしむる

佛國海軍卿ヘルタン氏、曩頃の攻撃を答辯し  
て氏、其就任以來極東艦隊を増大し今や其の  
増大計畫は駆逐艦隊の差遣を餘さのみとなす  
殖民地の安固を備へんが爲め可動的防禦即ち  
駆逐艦を潜水雷艦を編制しなす益し斯く  
の如きは未だ嘗て居さるがかりし所なく艦船を  
建造するは設計の改良さるるを基づく就役  
費の價値は頗る満足なる海峡並に地中海艦隊

は訓令一發せば即刻度航することを得べしと  
曰へり

三月十七日

英佛新協約

路透電報社の聞知する所、據ハ久しき交渉  
は英佛兩國の交渉は終に好結果を奏し殖民  
地其他に關し多年未決の問にありし諸問題に  
就て主眼上の意見は既に決定しありニエウフ  
アンドランド、埃及、モロッコ、暹羅及びビニジ  
エリア等に関し協約の締結せらるるは多分  
数日の中にあるべし

流帝と獨  
佛五十字

流國の兵役  
忌避者

△流帝は佛蘭西獨逸の嘉十字社を陸戦に於て任  
務を盡し度旨の申込を謝絶せり

△漢倭亞米利加汽船会社の汽船ベンシルバニア  
は商人波蘭人芬蘭人の徴兵忌避者二千二百名  
を乗せて米國に航せり流國官吏は左の外既  
切符を買ひたる數百名を乗船を差止りたる

三月十八日

美國下院は六十八票に對する百八十二票の多

美國下院と  
婦人選挙

數にて婦人選挙權を賛成するの決議案を可決  
せり

ケンブリッヂ公  
逝去

ケンブリッヂ公逝去せり

美國自由党の  
勝利

イースト・ドルセット選挙区に於ては自由党  
負當選したる

美國自由党と  
不信任動議

自由党首領ハンターマン氏トランスヴァール  
殖民地に及那勞働者の輸入禁止を勧告せり  
し事を以て政府不信任の投票を試むべき旨通  
知しきり而して討論の期日本月二十一日と

芝のらる

露國の遼東  
防備

△ 聖彼得堡より報に、よんハ遼東半島に於てハ  
到る處日本兵の上陸に抵抗する強大なる準備  
加へらるると云ふ

△ フロバトキン將軍の電報に、曰く二十三萬  
の露兵哈爾濱、旅順の間、集中せんとすと

捕獲着接所  
設立

△ セバストポール、リポー、旅順口、浦塩斯德  
の四箇所、捕獲着接所設立せんとすと

露國と韓國

聖彼得堡に於て官邸より度表さるる所、據ル

ハ露國は日本に對する韓國の態度を以てして  
道に之を交戦國と認むることなりと云ふ

英國皇族の葬儀

ケンベリッパ公はケンサル、クリーンに其公  
妃の傍に葬らるべく園葬式ハ来る大曜日（二  
十二日）ウエスミンスター寺院に行はる

三月十九日

獨逸皇帝  
歡迎

獨逸皇帝シプローンターに着し阿比德督ホワ  
イト元帥は皇帝を歡迎し皇帝は英國艦艇の二  
列を作りて整列せる同を端艇に依りて上陸し

美國潜水艦の  
雷の危變

オワイト元帥以下壯大なる一行と共に同地の  
主要なる市街、其馬車と駈け、祝砲の發射中  
各砲台に、獨逸國旗掲揚せし皇帝は三日間滞  
留の甚なり、美國海陸軍の歓迎は頗る壯麗なり  
し  
公報ニ據れば潜水艦の雷艇4號は二月十八日十  
ワブ燈台船沖に於て一郵便船の爲も沈み、  
たり乗組員一同行衛不明ニし中ニはマンサ  
ーフ少佐、ブレストン、ケヤー、ケル、大尉等あり

潜水艦沈没  
後報

沈没したる潜水艦の雷艇ニ於て十一名の溺死者  
あり右潜水艦は最新式ニ係るルヲニし此奇  
變は演習中ニ生じ潜水艦の水面下四十呎の處  
ニありて唯左集景鏡一ペリスコープのみを  
示し戦闘艇ニ對する其攻撃の機を待ち居たる  
際喜望峯通汽艇の來つて之ニ衝突し沈没せし  
り左のルヲなり

相 未松男と外

未松謹澄男は昨日外務大臣ランスマカラン卿と  
会见せり

羅馬法王の  
演説

羅馬法王ハ法務會議員ニ對する演説ニ於て佛

英國潜水艇  
の沈没

國不宗教反對の手段に於て倦む所なきを悲み  
是れ自由の思想に反し加特力な寺院の権柄を  
侵し文明の法律に背くものなりと云へり  
佛國大頭領ルーパー氏將に羅馬に來らんとする  
を除きたるを以て此種説異とするに堪へたるもの  
あり

△ 英國の一潜水艇スビットヘッド 附近に於て  
郵便船ハルウイックカフスル 號と衝突し其結  
果を以て沈没せり乗員十一名悉く溺死す潜水  
夫目下その艇體を搜索し居る

英國駆逐艇  
の陸上輸送

△ 聖彼得堡より報に據るに十隻の水雷駆逐艇  
鐵道に依り旅順口に輸送せらるんとすと云ふ

三月二十日

愛蘭土地  
債票

英國政府の價格八十七磅を以て利子四分二十  
三分の一割合にして五百萬磅の公債を發行した  
り其目的は愛蘭土地條例に關する資金に供用  
せんとするにあり

獨領西南  
阿非利加

獨領西南阿非利加に於て激戦あり多數の参謀  
將校を有せり獨兵の一小部隊遠に援兵を受け



潜水艇列上  
計畫

左へしに族の鋭軍と交戦し獨兵遂に退却せ  
り將校七名、兵卒九名戦死し將校三名、兵卒  
二名負傷す

去る十八日沈没し左る英國潜水艇と浮上から  
しゆんとたつた計畫は失敗に歸し左り隨て今  
や引揚艇を用ひて之を引揚せしむ可かつぶる  
に要す

米国の邦人  
保護

米園政府は高卒日奉公使の請求に依り霞園駐  
劄米園公使マワクローニワク氏に訓令を發し  
て霞園に請求せしむ目下西比利亞に在りて其

生命危険に瀕せし五十名の日奉非戦闘員が伯  
林に到達せしむを助けんとす以て之を救ひ  
彼等は伯林の公使館之を保護を可し

三月二十一日

鴨緑江畔の  
防備

△ 聖彼得堡より之の報道によれば露軍は満洲に進  
軍んとす日奉軍の側面を攻撃せんを恐る鴨  
緑江畔に大東溝に於て城壕を築きつゝ、之と  
云ふ

南阿の悪疫

△ トランスガールなるヨハニスブルヒに於て

黒死病発生し三十名の死者を出せり

△獨帝の郵船ケニーニツヒアルベルト號ニ接して  
ジブローのルターを訪ひ英國地中海艦隊司令長  
官ベレスフォード提督の之を旗艦マジエスチ  
ツク内ニ饗應せり帝はヨーロッパに於て伊國  
皇帝ニ會せんを爲る伊太利ニ向へり

巴里タム新聞の報道たる所ニ據るハ東京駐劄  
佛國公使アルマン氏ハ日本を去り十日三山嶋  
検疫所を砲撃したるはとと露國に代りて抗議  
したると

露國參謀本部附大尉ニ其戰時軍隊編制ニ  
亵たる秘審計畫を日本に賣りたるはあり聖  
彼得堡ニ於て伏罪し死刑ニ處せられたり

五千のブルゲーリア軍十箇隊ニ分れて國境を  
越えスワルムニツク 並ニモナスチールの方  
面ニ向ひ進行しつ、之を蓋し右の二箇所は反  
亂の中心とせらる可き計畫なり

三月二十三日

美国現政府の地位

阿ニ於テ支那労働者同

地中海の敵艦

クロバトキン将軍

自由党首領カンベル、バンナーマン氏の提出  
せる政府不信任の動議、二百四十二票に對す  
る二百九十九票の多数を以て否決せられたる  
美國貴族院はトランスカパール殖民地に代議制  
度の施行せらるゝ迄ハ支那労働者の輸入を延  
期すべしとの動議を否決したる  
英國巡洋艦アウロウ及び三隻の駆逐艦はビゼ  
ルトに到着したる

クロバトキン将軍は既にイルクツクを出發し

たり十一名の露兵ハ同地にて掠奪強姦の麻  
より銃殺せられたる

在彼得堡の路透通信員より  
の報道に據るハ公  
報ニ、キヤザルとル日奉艦隊ハ昨二十日又  
ルヤ旅順を砲撃したるとの  
報道ありと謂  
ふ

△ 聖彼得堡に於て發表されたる公報に據るハ日  
く十八隻より成る日奉艦隊ハ昨日午前四十台  
間老鉄山沖より旅順を砲撃し五名の露  
兵戦死し十名負傷したる日奉艦隊ハ正午に至

第五回旅順砲撃の概説

旅順の第五回砲撃

牛莊砲声の真相

リ南方に撤退し、尚ほアシキシーフ總督の  
日軍艦隊と交戦せしむる處に、露國艦隊の其錨地を  
出度したることを、亦も海戦につき、何事も  
及らざる所ありと

△ 牛莊に砲声の起りたるに、即ち露國軍隊が大砲  
の實際射撃を試みたるに、依ると宣言する砲台  
に、五吋砲四門、野砲十八門を備へ居り、と  
なり

日本の韓國防備

△ 安州より横貫して元山に延長するに、日本の  
砲台に、露國將校之と稱して隔るべし、と云ふ

西亞事の概

△ アフガニスタン王毒殺するに、このアスカバ  
ッド（露領土、耳其斯坦）通信聖彼得堡に於て  
發表さる

三月二十四日

北韓情報

日軍軍に、露軍より七連に北韓に其兵を集中し  
有力に安州に防備を加へ居り、旨聖彼得堡に  
於て承認さる、但し、ミスチンクス將軍ハ六千  
の騎兵を率ふ、安州以南に更に一層日軍軍を

妨害せんことを企て居り

遼東中土回誌

△ 露国、米國を誘引し牛莊並に遼東半島の西岸  
を中立地となす事、同意せしが、  
蓋し日本が右の地域を以て満洲に侵入するの  
根據地となすを防がんとするにあり之に對し  
米國政府は日本を迷惑せしむるの故を以て拒  
絶したり

詩人の訃

△ サイ エドウィン アーノルド 死せり 享年七  
十二

バルカンの  
擾乱

一 萬のアルベニア人ババテに於て叛乱を  
起したり土耳其のシヤキールパシヤは十二箇  
大隊の軍隊を以て之を包圍し高日十箇大隊の  
軍隊各地に於て急遽之を援助に赴きつゝあり  
美國皇帝の故ケンブリッヂ公の子息等を十人  
トと叙したり

支那人排斥  
條約

米國の強硬ある反對あり、拘りて清國ハ  
支那人排斥條約を二月二十七日を以て満期と  
なりたるを抗告せり

去る十七日電報したる英佛協商ニ付キニユー  
フォンドラント並ニナイゼリヤに關する條項  
は既に成りたり即ち佛國ニニユーフォンドラ  
ントニ關する總ての要求を放棄し英國ニ其佛  
領海岸の海老罐詰業ニ對して僅少なる賠償  
を存す一方ニ英國ニ佛國ニ讓歩してジブチ  
ニへ迂迴せしめて出づる事を許しモロコキ、  
埃及同懸ニ受してハ兩國共實際ニ於て互ニ他  
の權利を妨げざるを相約するルのなんども之  
を條約而シテ登記するハ困難なりと理解せらる

サト エドウキン アーリールド氏死せり

三月二十六日

佛國ニ羅法王本月十九日の演説ニ對して強  
強なる抗議ニ及べり

土耳其政府今尚ほマセドニアニ於ける万  
一の準備を怠たり希臘亦豫備兵を召集した  
り其の表面の理由と見る所ハ演習ニ在り

夜間巡洋艦アウロラ號及び駆逐艦ニ隻はスガ  
湾よりアルジェーヤに至りし來る火曜日一廿九

日) 去て葡萄牙の里斯本港に向  
平板

タイリスの  
日露交渉  
批評

△ タイリスは公表せしむたる日露交渉顛末を批  
評して日露交渉の意に切なる強んご  
屈從せんとする迄に及ひたり然るに尚ほ夜國  
の之を拒絶したるに真に驚く可し之に依て蔡  
光るに夜國に日露交渉して戦はぶる可きを豫  
期したるに力なりと云一り

夜國日露軍  
の上陸に備ふ

△ 夜國側より出たる報通に依れば夜國陸軍有  
ハ日露軍が秦皇島附近に上陸すべし計畫を有

すと確信し之に備ふるの用意を怠りつ、ち  
とつふ

露國の亞細亞  
貿易

三月二十六日

△ 西比利亞鐵道：よる高岳の輸送不途中に停止せしむる  
止せしむる爲に露國の貿易に非常なる障害  
を受けし、之を莫斯科の商人等、昔時の通商  
に依り亞細亞貿易を行ふの計畫を有し居りし

△ 日本、同情を表はし運動熾：土耳其：行は  
と信せらる

日露戦争と  
土耳其

三月二十七日



日本入国  
制限案不  
認可

端艇選手競漕

哥倫比亞政府：本日政府の意見を理由として  
英領哥倫比亞の立法議会を通過したる日本人  
の入国を制限せる三國の法案に不認可を共一  
た

牛津大学と叙橋大学の端艇選手競漕ハ三艇身  
の距離にして叙橋の勝利：輝せり

三月二十七日

聖彼得堡に於て報道せらるる所：キルバ多数

西韓方面情  
勢

の哥薩克兵は安州より平壤に連るる日本兵站  
線の南西方面に在て運動しつゝあり其目的ハ  
明：鎮南浦と元山に上陸せし日本軍の聯絡を  
妨ぐるにありと云ふ

北韓兵の  
退却

聖彼得堡に於て發表されたる處に據れば曰く  
鴨綠江、平壤間の露國軍隊ハ四萬人より成り  
日本才一軍の退却を見る鴨綠江南岸に於ける  
其據守に退却せし止むべきに止むる日本  
の前衛ハ砲兵を備へて嘉山、安州、寧辺、博  
川に延長せし四十里の間を占領し之に防禦  
線と張りし之より以北（日本軍の行進ハ

川流の氷を止むるに至る迄到底困難なるべし蓋し敵兵其の撤退を當りて義勇に至る跡上北川流の橋梁を盡く破壊し去りたるを以てなりと

△ 日本艦隊二十七日早朝再び旅順口の港口に四隻の汽船を沈没せしむることを企て遂に双方水雷艦隊の間激戦を見るに至り但し聖彼得堡に於て公報として宣稱さす所よし此の計畫は無効に歸り同港の出入は尚且自由なりと云ふ

△ マカロフ提督の報告に曰く予は土曜日(二十  
六日)午前戦闘艦、巡洋艦、水雷艦等を率ゐ  
て旅順口を出發し近傍の嶋嶼偵察を行はた  
りと

△ 羅馬のアセンジパリベラ新聞に載する芝罘  
電報よりハ曰く  
マカロフ提督の艦隊は旅順口の東方七十哩の  
地に於て日本艦隊と会戦し其驅攘す所とな  
りて港内を遁走せり  
敵兵は四萬人あり成る日本第一軍の進軍を見  
て鴨綠江に向り撤退し居りしと

露國海軍指揮官

△ クロバトキン將軍、昨日、哈爾濱と通過して奉天に進發せり

三月二十八日

クロバトキン將軍、既ニ奉天ニ進發せり

聖彼得堡ニ於て度長さん左る所ニ、十九日浦塩  
斯德守備隊長ハ八箇月間を支配するニ堪へたり  
と政府ニ於て認定せられたる定額ノ穀類を所有する  
ものニ限り同港ニ滞在せしむることを許容し又之

里帽將軍の進發  
浦港の現狀

印度總督の名譽

倫敦タイムズの勸告

と許容したるものニ對しては其在留を勸告し  
居り各銀行皆閉店して如何なる貨幣も流通  
ニ堪はずものなり

カーズン卿はサンク、ボークス（ドローアノ）以  
下五港の名なりしも其後近傍諸港をも包含す  
るニ至りし一の後見人ニ奉けり小たり

△ 倫敦タイムズの軍事評論記者、満州より甚しく遠隔したる地方、軍隊を上陸せしむべきんことを日本ニ向つて却て勸告したる

美国人の義捐

△ 林公使夫人の許に送り小た了義捐金一萬二千四百六十磅に達したる

三月二十九日

美国軍艦と牛莊

美国外務次官ハリス氏、下院に於て演説して曰く牛莊在美国領事ハ軍艦を同地に留船せしむ置らんことを切に稟議したるも艦隊司令長官ブリッヂ中將ハ之を以て好まざること、キラ布と認りたるも故に政府ハ牛莊在領事の意見を採用せざりき云々

定州の戦

東城よりこの報道に依れば去る廿三日安州定州間、於て日本歩兵の一技隊と露國コサツク兵との戦闘あり日本軍勝利を得露軍ハ徐々退却しつ、あり日本軍ハ五十名(?)の死者あり露軍の損傷ハ未詳なりと

南阿の悪疫と支那人肉

美国植民大臣リッツルトン氏、近頃南阿ヨハ子スブルヒに發生したる黒死病を處分せしむに於て成功したると云へり  
尚ほ大臣ハ南阿に支那人の入國するを抗拒するを拒り

明治三十七年四月分

路透電報集

附倫敦特電

前出納尚書ヒ  
ワクスビーケ氏  
英國議會ヲ休  
會

三月三十一日

前英國出納尚書ヒワクスビーケ氏ハ其選挙區  
民ニ對シ再選ヲ希望スルノ意ヲ告ガリ  
英國議會ハ四月十二日追休會スルこと、  
リ首相バルフォア氏は豫算案ハ多分四月十九  
日ヲ以テ提出セラルベキ旨ヲ告ガリ

四月一日

佛國代議院と  
海軍同駐

佛國海軍の現状：開し佛國代議院：長時間の  
討論より前海軍卿ロックロフ氏：激しく現任  
海軍卿ペルタン氏の行政を非難したるに  
タル氏之に對し先月十六日の議場：演説し  
たる論旨を繰返したる此討論中内閣議長コン  
ベ氏、ペルタン氏の方針を辯護したるに代議  
院の結局艦隊の現状を調査するに於て特別委員  
を設くべしとの決議案を可決したる

韓國一部の不逞

韓國に於ては不逞な徒國難を醸しつゝ、ちりて  
日本の勢力圏以外に地は不安全なり

英軍西藏軍  
五ヶ衝突

ワシナに在るロイテル通信員の報告する所：  
依れば西藏人、美國遠征：退却を請求しコン  
グハスバンド大佐、之を拒絶したる其結果と  
して二回の戦闘あり、西藏人、最も劇甚ある苦  
戦をなす山中：遁逃したる而して五六十名の  
山の「グラー」の陣營を頑強に守持したる不逞  
向グールの騎乗歩兵（印度人を以て組織せる  
軍隊）の存め：占領せしむるなり

清國又中  
聲明

在聖彼得堡僅清國公使館、清國、誠實：且つ確  
實：局外中立を保持せしむる決心あり、但だ露國  
若しくは日本が清國の地域を犯すに如き場合

西藏軍の統  
所持

…左の中を奪<sup>奪</sup>うべしと宣言したり  
フーナなるタイムス通信員が報道する所は依  
北バ三名が西藏將軍の護衛兵が露帝國の印鑑  
を有せし施條銃を以て武装せり小たす…注目  
をべき一の事柄なりと云ふ

英船の故障

ピオーター會社の汽船オルデンバーク號ハ丑丁  
ニ於て進退不能となりしより同社の乗客はマ  
ルモラ號ニ移らしむること、せり

四月二日

南極探検の結果

英國の南極探検船カスカバリー、モーニング  
、テララノウアの三隻はピットルトン（ニウ  
ジーランド）に歸着したりモリーニング、テラ  
ラノウアの二隻ハ二月十四日カスカバリーの  
所在地ニ到着したる、乗組員皆健在なり同  
船の探検ニ依りて南極地ウサクトリアランド



仁川敗戦將  
卒

の内地ハ九千呎の高サニテ陸地連なる所居るを  
確りら小なり者ハハ南極ハ廣大なる一帯の平  
野を以て連らなり居るものと思はる

ワリヤグ、コレイツの衆組員はオデツサに着  
し凱旋者として歓迎せらるなり

西藏の戦聞

△ 西藏人ハカウシ美国遠征隊がラハハ府ニ進發  
するを防止せんとしてカールに於て劇甚なる戦  
闘起り西藏方の陣營ハ美軍の屠りニ占領せら  
ル五百名の死傷者あり此内三名の指揮官並ニ  
二百名の捕虜を合む而して捕拿せらるたる武

廣國戦捷を  
街

畧中廣國製りえ込銃あり英國方の損傷ハ僅少  
ニして前衛ハカールに設立せらる小西藏人日ヲ  
ハハ府の方面に遁逃しなり

△ 聖彼得堡よりハ報通ハ定所ニ於ける戦聞に於  
て露軍ハ立派なる勝利を博しなりと稱し公表  
せられたる通官報は日本軍が赤十字社旗を掲揚  
して降服を乞ふなりとのことを報本

南極探検船歸  
東

△ 南極探検船ガスカガアリー、モーニング、テ  
ラノガアの三隻は急なくニユージランドに  
歸着しなり

公報：ふれバ「ゲール」の戦闘：於て西藏人ハ三  
百名の死者と出シ夥多ク負傷者あり且つ捕虜  
となりたるものニ百名に及ぶとつふ新聞紙は  
右の戦闘が西藏人：対し辛き教訓とあり此上  
戦闘するを不<sup>レ</sup>必要ならしむことと希望す

南極探検船「スカバリ」號ハ地理学並ニ其他  
の學術上有要なる結果を得ワイルクスランド  
なるものは存在せざるを確めたり「スカバリ」  
一號は海面ニワイルクスランドの存在せり  
と記されたる場所を航行しつ、ありたるもの

：之を救出すハ絶大の事業ニ属シ結氷せざ  
る海面ニ出むんとし氷を碎くこと十八哩<sup>洋</sup>  
及べり

四月四日

ロイテルのチエーナより接手したる電報：據  
ルバ今回の戦闘ハ英軍使余の政治的性質：毫  
も変化を與ふるものニあらば右使節ハ右にガ  
ンツエト向リ其途を辿りんとすといふ  
伯林の新聞紙ハ之を以て英軍の威名：甚しき  
奇撃を加へられたるものなりと思ふ一西藏：

新造覆艦  
沈まんとす

於ける覆艦の態度、奇異の感を抱けり  
ロイヤル彼得堡通信員の報を了所、據ルバボ  
ーレンタツツ造船所、於て將に完成せんとする  
覆艦巡洋艦（？）ツエケン、漸次沈まんとする  
の状を呈し調査の結果火爐より海に通ずる管  
道開栓せし之より、艦内浸入したるものなり  
こと発見さる之に、不良なる陰謀ありたり  
んとの疑あり

覆艦の  
西藏遠征

△ 覆艦の行状、西藏に於ける英國の行動を以て  
明に覆艦を挑発せんとするものなりと評言せ

遠西中之向は

△ スヴェット新聞、再び清國を脅迫して覆艦の  
最早や忍耐すること能はば其来るべき威嚇に  
應ずる所あり、懼れ之に抗するの権利を獲得  
せざるべからざると云へり

英國の西藏遠  
征

ロイヤルのチユーナより接手したる電報に據  
ルバ清國大使、ヤングハスバント大佐、書面  
を以て同使に大佐に会見せんことを欲したる  
もドライバーマ之に旅券を附與するを拒絶せ  
り然るに今や既ニギヤレツエニ向け具途ニ上

バカン事件

りたる由を云へり  
偵察隊は此程戦闘のあつたる地を距ること六  
哩に敵が強大なる陣地を有し居たるも既に之  
を放棄したるを發見せり

ブリゲーリーア暴徒と土目其隊との間ニ、クロス  
ナに於て戦闘あり若干の負傷者と生中あはれ大  
部隊の徒党モ十スケール銃通に現れ多数の農  
民及徒に投合したるやの報あり

四月五日

北緯の夜兵  
情報

英領の西藏遠  
征

露國の盜賊隊

聖彼得堡より報に據ればアルクマノフ將軍  
ハ五五のロシア兵を率ゐて走御より進軍せ  
んとせり日本兵に先ち雲山を占領せりとあふ  
ノীগオレシニヤ新聞に英國の西藏遠征を以  
て西藏及びダライラマの政府に優勝権を台  
むる重要な一運動なりと解せり

△ 獨逸ヶハニツコエツアイツングの報通す  
所ニ依れば露國ハサカレン嶋並ニカウカサス  
地方より罪囚、馬賊の類を以て駭隊を組織し  
つ、ちりとす

日軍満州に  
達せり

カール占領

西比利亞鉄道  
現状

△フルーゲ將軍、日本軍が満州に到達したることとを否認す

△英國の西藏遠征隊、カール（カール）を占領した

露國通信大臣キルコフは當局者と会談せん  
所存の聖彼得堡に歸來し、其言ふ所の依れ  
る西比利亞鉄道東部に於ける車輛扱取車の欠  
乏は填充せられ毎日イムクーク以西に十列  
車、バイカル以東に九回の貨物列車運轉し此  
外は乗客列車、軍用列車は東西両方に向ひ運

轉しつ、ちり彼に二週間内、再び東洋に歸り  
バイカル湖畔の鉄道線路を監督する者なり

四月六日

鴨綠江畔の  
戦況

△露軍、鴨綠江の北岸に強大なる城壕を築造し  
クロバトキン將軍、同所に於て敵軍の襲撃を  
待つとの報あり

本日昌城に於て小衝突ありコサツク兵、日本  
の援軍到着に及びて退却したるといふ

露國古報に  
瑞少

△露國古報に、延貴豫蒙の撤捕せらるるを公表

既  
美佛の海軍

露國の遠征  
算段

才

最上信憑を可き編り新聞紙上に宣言せらるる處に依れば美佛間の高議に何等の故障なく凡この間懸は今日事實に於て落着しなり

露國海軍ハ政府が當分同國の所謂正備準備を以て軍費に充てし同時若干の経費節減殊に鐵道建築費の減縮を行ふことと決したる旨を告す才右の減縮したる費額ハ總計千三百萬磅に上る

露國の新艦隊

四月七日

聖彼得堡より露國海軍大將アシキシス大公の用艦スヴェトリヤ十號巡洋艦に改造せん其木造物に凡て鉄材に代へられ本艦ハ来る六月を以て太平洋に出發せんとする露國新艦隊に加はるる若かり右新艦隊に左の(艦諸)艦を以て成ると云へり

ドミトリー・ドンスコイ

装甲巡洋艦

オスラビー

戦艦

オールラ

装甲巡洋艦

ワニホルグイツク型新甲鉄艦

四隻

舊巡洋艦

二隻

西班牙皇帝  
危変

四月八日

西班牙のアンフアンソール皇帝バロセロ十行幸  
中之對し爆裂彈を投じた者ありたりし皇  
帝、何等の危害を受くることありしを免れた

新巡洋艦

三隻

舊運送船

二隻

新運送船

二隻

駆逐艦

二隻

水雷艦

五隻

外：潜水艦

九隻

英仏同根商

米國の大統領  
選挙

ロイヤルの探知する所：據本が英佛同根商は  
既：終結の地步：達し英国外務大臣ランズダ  
ウン卿及び仏國大使カムボン氏、本日を以し  
其会商を終り其後續の最終會議ハ巴里：於て行  
はる、若かりと云ふ

米國大統領の選挙競争既：初まり頗る熱し来  
らんとするの状あり

リバブリアン党ハ必チルースゲエルト氏を以  
て其候補者：推薦すべくテモクラット党の候

露都の風聞

補者…判事長パーカー氏及び富豪家…  
つ新聞社（紐育ジョーナル、市俄古アメリカ  
ン桑港エキハミナ）持主なるハースト氏を  
りパーカー氏はブライアン氏、ハースト氏は  
クリーブランド氏の接護を受け居り  
△聖彼得堡より報…據んが露兵鴨綠江に於て  
敗績したりとの風説頻りあり日本艦隊…再び  
旅順口の迫傍…現はるる其攻撃豫期せらる  
露國…セバストポール地方…於て海軍豫備兵  
を動員せしむる云ふ

バルカン事件

獨領西南阿非利加

サロニカよりの報…據んが土耳其第二豫備兵  
八十箇大隊動員せらるる表面の目的…アーメ  
ニアンの一揆を鎮壓せんとなす云ふ…  
も其實マセドニアに向はるる者あり  
騎兵の部隊も動員せらるる云ふ

獨兵四百更…西南阿非利加…向りハムブルヒ  
と出資せり

四月九日

英仏同協約調印云々

英仏協約調印



五箇國の海軍  
備兵百集

セバストポールの海軍備兵百集さる右の一  
部、旅順口及び浦塩斯德、向ヶ援として發せ  
る一部、ボーンチワクの艦艇、乗組ヨリウ  
らる、善なり

英國の恤兵全

倫敦在勤日卒總領事、倫敦日本軍人遺族弔慰  
金第一回募集額一萬一千磅を既、本團、送還  
せり

ハルカン事件

交渉久しき直り一時國際關係の齟齬を見ん  
りと思はれし土耳其アルケリ、ア同の協約ハ

逐：調印せしむるなり

美仏協約と  
暹羅

美仏の協約、暹羅ニ関し千八百九十七年の條  
約より設定せしむるを兩國の勢力範圍と各  
認識す、是れ巧み暹羅の領土保全並に現狀  
維持を保證せり

前西班牙女王の  
訃

西班牙前女王イサベラ殿下逝去したり

美仏協約の  
世評

美仏協約、美仏兩國に於て一般に大に賛成せ  
らん倫敦の新紙、ボースト紙を除く外悉  
く政府、對し之を祝しテレケラフ紙、過去數

世紀間の記録、残れる外交的出来事中最凡満  
足なものであるなりと曰へり

四月十日

海軍戦艦長官カシウイフケ  
ユロウイフケ大佐、敵前、於て武勇を顯は  
たすの故を以て少将に昇任せしむ且つ旅順口  
司令官に任ぜらる

海軍戦艦長官カシウイフケ大佐、敵前、於て武勇を顯は  
たすの故を以て少将に昇任せしむ且つ旅順口  
司令官に任ぜらる

海軍戦艦長官  
カシウイフケ

海軍戦艦長官  
カシウイフケ

獨逸のモール  
タ着

英仏協商と  
獨逸

海軍の狼狽

獨逸少イールヘルム陛下モールタに上陸し

獨逸新聞紙、非友誼的の眼を以て英佛協商を  
見、伊太利新聞紙、協商を歓迎す

四月十一日

牛莊の海軍、昨夜日本上陸軍進撃し来ると  
すとの不穩なる報道、接し之を誤らんと  
台へ頻り、水先案内船及び商船、對して砲  
と行ひ若干の清國人之が有り、死せり同港の  
商業、實際、於て終息す

△ 土百其ハアルケリアと其條約と締結セリ之  
ニ依リテ一時平和を保つと得

スタンダード新聞維新通信負の豫測する所ニ  
據ルハ澳伊兩國外務大臣アバワケリア會商の  
結果アルベリニアに關する兩國の協約ハ全バ  
ルカン半島ニ擴張さるゝニ至るべしと云ハ

ホスト新聞是衆通信負ハ報トて曰ク北京より  
發シ來る外人排斥政策の日は長じ來るハ頗る  
憂ハべし政府ハ頻ニ清國の中立を保護せんと欲

ル此中立ハ結局人民の蜂起ニよりて遠くトド  
破るゝニ至るべしと

△ 英佛新協約ハ極東ニ戦争ありし之れを廢り  
歐洲列國の戦亂の渦中ニ捲き込まず、虞を消  
滅セしむと云ふと認りらる

△ 政府ハ佛國大統領及ハ佛國政府ハ忠實ニ英佛  
同盟を信奉するの明確なる証據を握り居る由  
彼得堡より報道ありたり

四月十二日

加 獨領西南阿非利

獨領西南阿非利加：於て再び戦闘あり獨軍ハ  
八時間の戦闘の後三千のヘシロ族と潰散せし  
うち獨軍の死傷者ハ將長三名兵卒十二名  
ヘシロ兵の損害大なり

絶 西比利亞輸送社

△ バイカル湖の結氷漸次解けんとするを以て  
國の輸送ハ中絶ニ及べり同湖岸迂回鉄道ハ八  
月：至るまで完成せり

動 西班牙の暗殺強

△ ハーセーロナに於て西班牙總理大臣ニ暗殺を  
試みたるものあり同大臣負傷せり

四月十三日

約 英仏同盟協定

暹羅ニ関する英仏同盟協定本文の公報として後  
表されたる所ニ據れば曰く西締盟國ハ領土併  
呑の意志を一抔抱くことなく且つ現行條約  
背反したる何等の行動をも爲さざるべきこと  
定し西締盟國の行動ハ湄南河之境にして其東及  
以西：互ニ勢力區域を劃し此範圍内ニ於て各  
自由たるべしと

海軍 海軍艦隊司令長官マカロフ

海軍東洋艦隊司令長官マカロフ中将ニ具呈條

全負を牽けて戦闘艇にトロパウロスヲ號（一  
萬九百六十噸）と共に沈没溺死したる

獨逸宰相ビエーロー伯、帝國議會に於て演説  
し、獨逸は美仙侯國に關し何等の愁訴をべき  
ものも有せず、何と云ふも若し英國との關係に  
し、切迫せん、此事世界の平和を危くす可け  
れば、切と曰へり

四月十二日

英國外務大臣ランスタウン卿が其駐仙大使モ

ンソン氏に贈りたる書面、仙國が英國の埃及  
に於ける優先なる地位を認めたるを切言し、宣  
言書に添加せし小大の新太守（埃及王）典に  
るの稱號ハ仙國之を承認し、若し列國に  
し、其之を承認するに於てハ埃及は自國の  
資助を管理する上、於て自由行動を採るを得  
べし、而して埃及駐在英國大使クハ、マ、卿ハ  
立法並に司法組織を改革するの時機未だ熟せ  
ば併し時機至らば必要なる改革を實行する上  
に於て仙國の共同を得べき見込ありと思惟す  
と曰へり

四月十二日

マカロフの戦死

△ マカロフ提督は本日旅順口にて戦闘艦艇へト  
ロパウロスコフ提督の全乗組員と共に溺死した  
との説あり恐らく戦闘中水雷に掛りたるもの  
なる可くキリル大公は重傷を受けたり

夜艦爆沈

夜間戦闘艦艇へトロパウロスコフ提督は  
中水雷に掛りて爆発特覆しマカロフ提督は  
全乗組員と共に溺死し艦長並に将校並に水兵三  
十二名救助せしむたるも負傷者少し

雲城近征隊の  
成功

美国の西藏遠征隊は其目的たるギヤンツェに  
達したる一名の死傷者だとなり

旅順砲臺

△ 清国山東省登州府より来る報に依れば今朝廟  
嶋列島の方位に當り強烈なる砲声聞えたるが  
右群嶋内にて戦闘ありしもの或は旅順口  
を砲撃したるもの確なり

日本戦艦朝日提督昨日是東洋と西方に向ひ通  
過したる

旅順海戦の  
軍事的影響

△ 英国下院に於て海軍協定の討議あり若干の議  
員は旅順に於ける成功を指摘して英国海軍に

米國税関と大砲積

てし水雷の事業：一層の注意を加へ且つ新造の各巡洋艦：従来の巡洋艦と振ふ附けあるものより七口径の大砲と振ふ附けんとを政府：勸告し之に對し海軍大臣セルボルン氏：七吋半の大砲を以て六吋砲に代ふる豫定なる旨を答辯す此日傍聴席に日本人五名及び知名の外國人数名を見受けり

△米國の税関：一、外國人を米國の港灣に於て其買入れたる大砲と船積せりとする風説に果して事實ありや否やと調査せらるるとなり

郵船会社の英船借入

△日本郵船会社：改刻線を航行する英國汽船を更に借入れつゝあり

四月十四日

△在彼得堡路透通信員報トて曰く露國は清國を多數の日本士官を備へ入り、或ハク口バトキンの後方を攻撃し交通を絶つべく支那を教唆する層り、ハハチラチヤと露國清國に手強き抗議を為しつゝあり

四月十五日

露國の叛意

印度事務大臣ブロウドリツク氏ハ下院ニ於テ  
西藏問題ヲ討議シ降シ印度總督カムラン氏ヲ  
意見ヲ辯護シテ曰ク同總督ハ遠征隊ヲ派遣セ  
希望シ然ラバ美國ノ利益ハ不當ニ毀損セ  
ラズベシト認メたるヲ同大臣ハ極力進ん  
ジ美國ハ前後三回ノ遠征隊ヲ西藏ニ派遣シ  
テ而シテ今回カムラン總督ノ派遣セル遠征隊  
ハ兵員ニ於テ途ニ既往ノ遠征隊ニ超越スル  
附言セリ

英國戰闘艦ミスリーノ十二吋砲練習中ニ破裂

シ士官五名水兵二十一名死亡シタリ

英國駆逐艦ライゼルハ漢習中ホーフマウスニ  
夜襲を試みんとシ坐礁シタリガ艦隊破壊  
ノ模様ナリ

旅順：於テ度表々小たる旅順ノ情報ニ依ルハ  
戦闘艦セバヌトポール（一〇、九六〇噸）とホ  
ルタワ（一〇、九六〇噸）と一時港外ニ出テ  
チシシル港口附近ニ於テ互ニ衝突シ兩艦共損  
傷ヲ蒙リたるガ旅順ノ港内破砕地ニ突入ルル  
ナリト



征 美国の西藏に

マカロフ追悼会

日本艦隊は十四日午後旅順口の砲撃を継続し  
主として港内及び要塞に向て砲撃を試みつ、  
ち

西藏兵は又も赤佛谿に於て美国遠征軍に抵  
抗し其三百人を失ふ美兵十名亦之に負傷せり

清國皇帝及び皇后は海軍省附屬寺院に偈すべ  
たる追悼会に臨幸せり式中皇后は絶えず流涕  
し居たり

聖彼得堡は弔意を表し一切の娯樂を休止し飲  
食店又其門を鎖せり

美国巡艦

旅順砲撃の経過

新任清國司令長官

清國艦隊の運辰

チーカー號は浮き上りり(漢習中ボーツマス  
に沈没したるもの)

旅順口の砲撃は昨日午後二時より清國軍艦の  
入港を遮断せんとして継続中なり

スクリドルフ提督マカロフ提督の後任にギド  
ウハナリ

オスラビア以下の艦隊(一たび紅海を経て東  
海を企てたるもの)ボールン4ツクに歸着せり

英國前艦民大

海軍の艦隊に

獨逸の中立同

四月十六日

キエームバレン氏埃及より歸り

海軍政府、無線電信を使用する新聞通信者、  
作候と認め之、砲撃を加ふべき旨布告せり

獨逸帝國議會：於て社会党議員ベール氏ハ  
獨逸郵船の海軍に賣渡さるべき事ありとの説あるハ  
中立違反なりとの事、つぎ注意を促し宰相ビ  
エロ―伯ハ之を答辯し斯の如き賣買、今日迄  
國際法に依りて許容さるべき所あり但し何れハ

するも右賣買の同駐に疑ふべきものなりと云  
へり

△ 海門號ニ搭乗し居るタイクハ通信員、旅順  
港口を以て閉塞さるべきと信ぜり

△ 海軍の無線電信を喜ぶ者、カフオ―リスト式右  
通信機を使用する通信者、捕獲次第之を銃殺  
せんとす米國ハ右に對し激昂し居り

△ アレキシーフ總督の報告する所ニ據れば砲撃  
ハ昨日走鉄山の方向より行われ午前九時止

旅順港口閉塞  
の説

海軍の無線電  
信

旅順砲撃の  
経過

獨領西南阿  
非利加

リ正午、至るまで繼續す小ちくと云ふ  
四月十三日再びへし口族との交戦あり戦死將  
校二名、兵卒六名、負傷將校一名、兵卒十二  
名、一し当初より今日までの損害總計、戦死  
得校十五名、兵卒八十一名、負傷將校十名、  
兵卒五十九名なり

四月十八日

土耳其はアルベニアのミトロガイワアに向  
け軍隊發遣中なり右、埃國の境上ニ其兵を集

バルカン動搖

滿州鐵道破  
壞の案集

中し居るニ對抗せんが居つたり  
希臘の暴徒頻にマセドニアに横行す其一隊  
の如し、土耳其の収税吏を攻撃し其十八名  
を殺せり

二名の日本將校仮装して喇嘛僧となり錦花菜  
を以て、ソニ河鉄橋を破壊せんとして兵を捕  
ふ所となりて哈爾濱ニ引致す小左の旨聖彼  
得堡より報せり

浦埤天二回  
砲撃

△日本艦隊浦埤斯德沖ニ現け小たりとの説あり  
之が后より浦埤艦隊指揮官、其攻撃ニ抗抵あり

の準備を行ふ居り

△ 若干の潜航水雷艦の解き、<sup>は</sup>ときて本日之を  
旅順口に向け聖彼得得僅より發送し初めたり

潜航水雷艦の  
發送

陸防備

兵隊の上

△ 二萬の兵隊大孤山に集中せしむる  
スーダン商長の兵ハ伊太利領土を遁走して美  
軍の潰破せる所とあり 野戦軍隊を減員せん  
とある 英國の行動ハ中止せしむるに次せう

英國と西藏  
遠征

下院に於て議負ラムハート氏ハ質問するに政

府にギヤンツエに於ける商議の破裂したる情  
合にはラハサに向け其進軍を行ふべき旨提言  
したるや如何との事と以てしたるに 印度事務  
大臣 フロドリツク氏は之に答へ斯の如き場  
合に於ける政府の意思を言明するに 公共の利  
益に於らばと云へり

四月十九日

△ 露帝はホーレルケツク艦隊が旅順口に向ひ七月  
十五日を以て進發せんことを希望するを以し  
有司に之に應じて其準備を整へつゝあり

本國艦隊の  
出發期

案 英國の増税

日本海軍の  
接近

提督未亡人の  
年金

英國軍人の  
妾

△ 英國の豫算案ハ茶、煙草ニ對する増税を提議  
セリ

聖得彼僅よりの報道ニ依ルバ日本軍の前衛と  
鴨緑江の鴨中ニ於ける露軍の前衛とニ其距離  
六百ヤードに過ホズトアリ

マカロフ提督未亡人の二萬留の年金を共へら  
す、と云、ナリ

英國近衛隊附ハート少佐倫敦ヒカーイリ

スクリッドロフ  
提督

英國大統領候  
補者

案 英國の豫算

に於て馬車ニ出来事あり為めニ死せり

露軍新東洋艦隊司令長官スクリッドロフ提督極  
東ニ向ヒ進發するニ先チ聖彼得堡ニ到着し一  
般公衆より稀有なる歓迎を受けたり而して提  
督ハ海軍の名譽を救ふ可きを誓言したり

英國デモクラフト虎州会紐育に開催せらるル法  
官パーカー氏を大統領候補者ニ指名したり

英國豫算案の昨年度ニ於ける不足額ハ五百四  
十一萬五千磅ありしに次年度の歳入額ハ千三

百九十萬六千磅、歳出題ハ千四百三十八萬八千磅ニシテ公債償却資金の停止を在み且つ幾百萬磅ニ由上る無所有財産を歳入ニ加算し及び所得税を一片、茶税を二片増課せんことを提案せり

四月二十日

製茶増税案はラフ氏修正通りニ可決し麥粉六片課税案ハ百九十三票ニ對する二百六十五票を以て否決す小葉巻煙草ニ六片、紙巻煙草ニ一志の増税を行ひ輸入前ニ葉楡(莖を離し)

を行ひたる葉煙草ニ對し三志三片の新税を課せんとする煙草税案ハ百六票ニ對する二百票を以て可決しなり

新聞紙一般ニ豫算案、賛成を表すも虽し保守党の紙幣紙同時ニ特ニ所得税の故を以て歳出削減の急務なるを主張す

リーリーニユースは劇しく率税増率を非難せり

アレキサーフ總督ハ自己を以て實際民政以外の諸職務より放逐せらるるものと認め且つは自己ニ對し著しく敵意を含有するスクリプト

西藏遠征と  
上院

ワフ提督が自己に其商議ありし任命せらるる  
たりの故を以て辞職せり

美國上院の西藏遠征隊に對し遠征の権限を典  
ぶりの決議案を可決せり

四月二十二日

聖彼得堡にありルイター通信員が探聞する所  
に據んバクバトキン將軍の部下に目下三  
十萬人あり現在の處に此れ二十分を九分更  
に軍隊を派遣するらしむ見合せとなりたり

滿州の海軍

トロントの火災

云々

加奈陀トロント市に火災起り百三十戸焼失し此  
の損害一千三百萬弗なり

バルカンの情形

本月九日の協約に依りて土耳其はサロニカに拘  
囚せる勃牙利人四百五名を釋放したり他の拘  
囚三百十一人は獄中に死せり

アレキシエフの  
辞職未

アレキシエフ大守辭職の事、聖彼得堡の官邸  
にこの之を認め居らば然れども一時何となく  
アレキシエフを和むるわけの必要あらんとす

夜軍活動甚  
と云

△ 本日聖彼得堡より接手したる報に據れば露人の之を望む事頗る切なるを居りクロバトキン將軍の遂に攻勢的態度を執るに決したることを鴨緑江に於ける日軍軍を包圍せんと試みるに至るなり

夜軍捕虜を銃殺す

△ 齊々哈爾濱の附近に於てロシア河の鉄道橋梁を破壊せんとし見現はされたる日軍の將校大木、福岡の二名ハ哈爾濱に於て銃殺せられたる旨クロバトキン將軍報告せり

夜軍の巴里公債

△ 三千二百萬磅の夜軍公債巴里に賣出せられたるとの説あり

所得税の可決

所得税増率案ハ十六票(百十六票中)に對する二百十四票の多数を以て英國下院を通過せり

夜軍捕虜を銃殺す

クロバトキン將軍の四月十八日付を以て電報する所は據れば福岡捨雄大木貞助と稱する日軍將校哈爾濱に於て軍法會議に附せしむる絞罪を宣告さる但し其官階、斟酌を加へ之を助命の哀願と棄却したる後銃殺に附せり



露國の暮債

四月二十三日

露國大公債募集の爲に巴里に於て商議進行中  
なりとの報あり金額ハ多分三千二百萬磅なり  
べー

△ 一汽艇旅順口の附近に於て觸發水雷に罹り破  
壞し露人二十一名溺死せしアリシニ一ツ總督  
の報告に右水雷を以て露國の水雷なりと一沈  
置の條爆発したるものなりと存せし實ハ日本  
の沈置したる所なるべしと信せらる

露國汽艇の爆  
沈

ハタマ運河  
契約

正式にハタマ運河と未開政府に引渡す契約書  
巴里に於て調印せられたり

匈牙利の鉄道  
罷業

匈牙利鉄道の同盟罷業者の總數三萬人あり多  
く違せり鉄道の運輸は殆んど停止せしり而も罷  
業者との商議は不調に歸しブダペストに於け  
る食料品の價額に頻りに騰貴す政府ハ之を存し  
鉄道隊の豫備兵を召集するに至りたり

露國水雷布設  
船の爆沈

アレキシニ一ツ總督より報告に據んば數隻の  
水雷艇旅順口に於て水雷布設中一個の布設水  
雷船も一汽艇の下に當りて爆発し居り、中尉

一人及び若干の兵士と殺せしむ

四月二十四日

仏伊の好情

仏國大統領ルルーベ氏羅馬に到着し伊國皇帝は停車場に之を迎へ皇座に入らば無数の群衆は熱誠を以て且つ最も懇篤なる歓迎をなす全市を震ゆべく裝飾せしむる光景無上の華盛盛大と呈せし佛伊兩國新聞紙は兩國の調和を政治の上緊切なると切言す

匈牙利同盟罷工止む

匈牙利の鉄道同盟罷工の政府の仲裁条件と答

ル再々職務に復せし

夜國の内憂

ポーランドの獨立を確立し且つ目下子カアア河に於て武装中なる夜國新巡洋艦二隻を爆裂せんとするの陰謀を覺したる

四月二十五日

ア總督の辭せん

聖彼得堡よりの特報に依れば俄帝は今日の大難難なる時機に於ては私の異見を忘るゝこと總ての俄人の義務なることと指摘し處分の内アレキシエフ總督の辭職を聽許すを拒絶

溥倫殿下  
米團

隨て辞表ニ撤回せられたるは然れども是クイリドロフ提督の着任する迄の同一時の  
按排たるは過き事と信せらるると云ふ

清國の聖路易博覽會に使溥倫殿下は華盛頓に於て異常なる厚遇を受けたり、又國務卿ヘイ氏ニ四月二十四日大使を饗應し大統領ルーズヴェルト氏亦出席せりルーズヴェルト氏ニ翌二十日接見せられたり

浦島新徳解氷の日  
本艦隊

浦島新徳解氷し日幸巡洋艦數隻其附近に現は  
れたる

クロバトキン殺  
害の計畫

△ 聖彼得堡よりの報道：依ルバニ名の日本人支那人の気食ニ愛也装牛莊ニ於てクロバトキン將軍を殺害せんと企て二名共逮捕す小刀を  
發見せしむられたる

英國皇帝の孫

英國皇帝皇后兩陛下ハ愛蘭土ニ向ひ出立せられたる

獨逸國愛  
船中

英國ハ間接ニ九隻の獨逸汽船を購入し右汽船は艦装の上巡洋艦とせらるべく間く所ニ依れば右ハ日本ハ商業を妨碍する所あり使用せ

朝日の見解と美  
國

日軍鴨綠江と  
渡

らふ可しといふ

△ 戦争の結果、対する朝日新聞の見解は、美  
國に於て、汎く賞讃せらる

クロバトキに將軍より、の電報に據れば、日、最  
近、教日の間、日本軍、鴨綠江に頻りに架橋を試み  
、遂に、義州附近、教箇の地点に於て、通路を得、歩兵  
二箇中隊及び騎兵一小分隊は、シムムン、シキ  
の下流、五十基、未突に於て、實際に渡河せしむる  
、房の、海國の、前衛に、接兵、渡遣さるるなりと

美國提督の死去

美國兩陛下愛  
蘭行幸

海河の新内閣

鴨綠江方面の戦闘

海軍少將ヘンリー・メー氏死去

四月二十七日

美國皇帝皇后兩陛下に、ハ、暴雨の中に、キンクス  
タウン（ダブリン）に、上陸せらるるなり  
、而して、埠頭に、熱心なる奉迎者を以て、満さんたり  
、海河聯邦に於て、ハ、勞働党内閣組織さる、唯司法  
大臣のみ、其、党員に、以らる

△ ノグオス、ハ、新聞の、發表する、遼陽電報に、據れば、

潜水艇既三着  
したる

ホールクワッ  
隊進度計畫

強大なる日本軍隊鴨緑江を渡り猛烈なる砲  
声タンクラーの後方：開中思ふ：北緯四十一度  
東徑百十六度辺：於けるカウんと云へり

△ 聖彼得堡より報：據ルガ旅順：行ハル  
潜水艇の試運轉：頗る良好なり：更：他の潜  
水艇を目下進送中なりと云ふ

夜間海軍省ハ極西を經てホールクワッ艦隊を  
送りケープを經て石炭船を發遣し双方より  
印度洋中：相會せしむんと計畫あり

無線電信禁制  
と列國

鴨緑江畔の戦況

無線電信の使用：反対せる露國の意見ハ諸海  
國海陸軍人の間：頗る賛成多シ模様あり

四月二十九日

△ 公報ニハ非されども聖彼得堡：於て發刊せら  
れる電報は日本軍が數次鴨緑江を渡過せん  
と企及したる模様を様々ニ報じ其の一電報：  
據ルガ海軍の砲兵ハ嚴防の北方ニ日本兵の架  
設したる船橋を破壊し日本兵を河中央へ追搦く  
りたるが義おの南方ニ於て日本軍の一隊能  
く渡河し而して其の一部ハ砲兵一中隊を率及

全書凡遺難  
別報

乙九連城方面：前進したり。但し露兵撃之て退し大損害を負けしなりと云へり。

△露國水雷艇は四月二十五日元山津を去りし夜同二十六日夜海上に於し日奔運送艇金剛丸（四十噸）に出会したり。將校十七名卒二十五名人夫八十五名海負六十五名降服したりと云へり。露國巡洋艦の甲板に収容したり。残餘の軍隊二百人降服を拒絶し船と共に海底に沈没せしなりと云へり。

